令和６年度
事　業　報　告　書

目　　次

１、情勢と総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１頁
２、令和６年度の特徴（重点テーマの振り返り）・・・・・・・・・・　２頁
３、社会福祉法人の運営・管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３頁
４、社会福祉事業及び社会福祉を目的とする事業・・・・・・・・・　７頁
５、介護保険及び障がい福祉サービスに関する事業・・・・・・・１５頁
６、公益を目的とする事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０頁
７、収益を目的とする事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０頁
８、その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１頁
９、資料編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６頁

社会福祉
法　　人　　飯豊町社会福祉協議会

1　情勢と総括

昨今、孤独・孤立の問題が広がる中、社会全体で解決に向けた取り組みが求められており国においては、令和６年４月に「孤独・孤立対策推進法」施行を契機とし、孤独・孤立についての理解・意識を社会全体で高め、対策を進める機運を醸成していくための施策の充実が図られてきました。

そのような中において、本町では、新しい地域福祉計画及び地域福祉活動計画の策定が一体的に行われ、今日的な地域課題に応える活動の方向性を模索し、向こう５年間における具体的な事業を展開していく上では“孤立をつくらない地域づくり”に焦点が置かれ、誰一人取り残さない地域共生社会の実現を目指していくことについて、行政と共有・共感する機会となりました。

私たちは、これまでも「フリースペース・エール」などを利用し、人と人とのつながりを築きながら、“人のあたたかさ”や“ここに居ていい”と感じられる居場所づくりに挑戦してきましたが、こうした地道な活動が、孤独・孤立を防ぎ、生活に安心感や楽しみ、生きがいをもたらし「豊かな地域社会」への道筋に繋がっているといっても過言ではありません。

福祉の里めざみの赤字脱却を掲げた「経営改善計画 2024」のもとで、介護部門の業績は、少しずつ回復基調にあるものの、12 月に新型コロナウイルスの感染者が増加した影響もあって当初の目標を達成するまでには至りませんでした。

しかしながら、7 年度からの黒字転換に向けて、着々と計画に沿った取り組みが進められ、デイサービス事業においては、利用者を町内に制限する地域密着型通所介護による提供を見直し、8 月から周辺市町からの利用を可能とする広域型の通所介護への移行を進め、稼働率の向上を図ってきました。

住宅型有料老人ホームの開所準備にあたっては、採算性を追求する上で、設備投資を最小限に抑える一方、低収入の高齢者に最大限配慮した入居費用の設定を行いました。

空床状態を早期に解消していくために、組織として営業に力を入れてきたことで、3 月の内覧会には 3 日間で延べ 150 人の来館があり、高齢者における住まいへの関心の高さがうかがえると同時に、確かな手ごたえを感じることができました。

全国社会福祉協議会が、今後の社協活動・組織の考え方や方向性を示す根拠として取りまとめられた「社会福祉協議会基本要項 2025」の中で、社協は、多様化するニーズへの感度をさらに高めながら、制度の枠にとらわれず、その人らしい暮らしを地域で支えるためのさまざまな活動・事業を積極的に企画・実施していくことに加え、住民や地域の関係者の力を集め、公私協働の要として、これまで以上に真価を発揮する必要があることを新しい指針としています。

物価高など厳しい経済情勢の中であっても、連日届けられるフードバンクへの食料寄附をはじめ、ほほえみカーへのボランティア添乗、除雪ボランティア組織の結成など、いずれも地元の福祉を支える大きな原動力となっており、社協としてのプライドや確かな成長を手にすることができた年でもありました。

この一年間で学び、考え、経験してきたことをしっかりと今後の社協活動に、そして地域福祉の未来につなげていくことを組織内外に示しながら、皆様に信頼される社協づくりと社会福祉の向上にむかって引き続き役職員一丸となって邁進していくことを誓い総括とさせていただきます。

以下、具体的な活動内容、事業の実績等については次頁よりご報告いたします。

２　令和６年度の特徴　-重点テーマの振り返り-

【第３次飯豊町地域福祉計画と地域福祉活動計画が策定され新しい重点施策がまとまる】

令和７年４月から令和１２年３月までの５年を期間とする新しい計画づくりが進められました。第２次計画と同様に行政計画である「地域福祉計画」と連携・協働し、地域住民及び関係機関・団体が、地元の福祉向上に向けて一緒に課題を共有し、学び、形にしていくプロセスを大切にしながらの策定となりました。

新たに、“共につながり生きていく　孤立をつくらない地域づくり”をスローガンに掲げ、地域共生社会の実現に向けて福祉分野に関連する幅広い「協働」を呼びかけながら策定が進められました。

【デイサービスを地域密着型（小規模）から通所介護（通常規模）に移行し町外の利用受け入れを開始】

7 年度からの黒字転換を目標として、自立支援型デイサービスへの転換に続き、リニューアル第２弾として、令和 6 年 8 月から地域密着型（町民のみの受け入れ）から通常規模型（広域型）への移行を行いました。1 日あたり定員 18 名から 25 名に引き上げられ、稼働増による経営基盤の安定を目指すものであります。

【“ユースエール企業（厚生労働大臣）”及び“ダイヤモンドスマイル企業(県知事)”の認定を受ける”】

若者の採用活動、雇用管理及び育成を積極的に行っている企業として厚生労働大臣から「ユースエール認定」を受けることとなり、また、ワーク・ライフバランスや女性活躍の推進に取り組んでいる企業等を県が認定する「やまがたスマイル企業認定」において、本会がダイヤモンドスマイル企業【最高ランク】の認定を受けました。

【令和６年４月に料金改定を行ったほほえみカーの利用者が13年ぶりに前年度の実績を上回る】

町民のライフスタイルの変化等に対応するため令和６年４月にダイヤ改定や料金の引き下げ等の運行形態の見直しを図り、利便性の向上を図ってきましたが、夏ごろから徐々に利用者が増え始め、最終的には１日平均３５人まで回復し、しばらくぶりに前年度対比で増となりました。

＜重点テーマの振り返り＞

項目別	重点テーマ（目標）	振り返り（評価）
地域福祉事業	▼法人内外の連携を強化し、地域共生社会の基盤づくりに貢献します。 ▼地域福祉活動計画の策定を通じ、住民が互いに支え合いながら活躍できる地域づくりを推進していきます。	□「除雪体制づくりプロジェクト会議」の設置により住民、共助団体及び町等が連携協力し、地域に密着した宅地除雪体制の整備が図られました。 □向こう 5 年間の中で、具体的に取り組むテーマを 6 つに絞り込み、飯豊町との連携のもと策定されました。
介護事業	▼介護サービス事業経営の基本方針を組織区全体で共有し、経営理念の実現を目指します。 ［介護保険サービスの目標値］ ・ケアマネジメント　120 人(月平均) ・ホームヘルプ　261 件(月平均) ・デイサービス（全サービス種別合算）25 人(日平均) ［障害福祉サービスの目標値］ ・ホームヘルプ　87 件(月平均)	□内部事業所間で情報共有の仕組みを工夫し、部門横断的な事例検討やミーティング等を通じ個別ニーズに着目した一体的なサービス提供・支援につながってきました。 ［介護保険サービスの業績］ ・ケアマネジメント　122.7 人(月平均) ・ホームヘルプ　219.8 件(月平均) ・デイサービス（全サービス種別合算）21.6 人(日平均) ［障害福祉サービスの業績］ ・ホームヘルプ　124 件(月平均)
その他（運営全般）	▼持続発展する法人経営を目指し、福祉人材の「確保」「育成」「定着」に努めます。	□これまでの取組みが評価され、厚生省からユースエール企業の認定に加え、県知事からダイヤモンドスマイル企業の認定証が交付されました。

３ 社会福祉法人の運営・管理　【社会福祉拠点】

（１）理 事 会 （定数：９名以上１１名以内）　全５回開催

第２６８回　令和６年　６月　７日開催／出席理事（現数１０名中）１０名、監事２名出席	
報告第 1 号	会長及び常務理事の職務執行状況報告について
議案第 24 号	社会福祉施設管理規程の一部改正について（地域密着型通所介護から通所介護に変更）
議案第 25 号	指定地域密着型通所介護事業所及び第一号通所事業（飯豊町通所介護相当サービス）運営規程の一部改正について（地域密着型通所介護から通所介護へ変更）
議案第 26 号	令和 6 年収支補正予算（第 1 号）の同意について
議案第 27 号	令和 5 年度事業報告の承認について
議案第 28 号	令和 5 年度収支決算の承認について
議案第 29 号	令和 6 年度第 1 回評議員会（定時評議員会）の招集について
第２６９回　令和６年　７月１１日開催／出席理事（現数１０名中）１０名、監事２名出席	
議案第 30 号	令和 6 年度飯豊町在宅複合型老人福祉施設浴室改修工事請負契約の締結について
第２７０回　令和６年１１月１９日開催／出席理事（現数１０名中）１０名、監事１名出席	
報告第 1 号	会長及び常務理事の職務執行状況報告について
報告第 2 号	令和 6 年度飯豊町在宅複合型老人福祉施設浴室改修工事の第 1 回請負契約変更の締結について
議案第 31 号	職場におけるハラスメント防止に関する規程の一部改正について（カスタマーハラスメント規定化）
議案第 32 号	住宅型有料老人ホームの開設準備について
議案第 33 号	令和 6 年収支補正予算（第 2 号）の同意について
議案第 34 号	令和 6 年度第 2 回評議員会の招集について
第２７１回　令和７年　１月３０日開催／出席理事（現数１０名中）７名、監事１名出席	
報告第 35 号	定款の一部変更について
報告第 36 号	住宅型有料老人ホーム管理規程の設定について（公益事業に新規事業追加）
議案第 37 号	経理規程の一部改正について
議案第 38 号	社会福祉施設管理規程の一部改正について
議案第 39 号	指定地域密着型通所介護事業所及び第一号通所事業（飯豊町通所介護相当サービス）運営規程の一部改正について（通所介護の定数引き上げ）
議案第 40 号	指定認知症対応型通所介護事業所及び指定介護予防認知症対応型通所介護事業所運営規程を廃止する規程の設定について
議案第 41 号	通所介護事業所が提供する宿泊サービス事業運営規程を廃止する規程の設定について
議案第 42 号	役員の報酬等に関する規程の一部改正について（会長報酬引き上げ）
議案第 43 号	令和 6 年度第 3 回評議員会の招集について
第２７２回　令和７年　３月１９日開催／出席理事（現数１０名中）１０名、監事１名出席	
報告第 1 号	監事による中間監査の結果について
報告第 2 号	会長及び常務理事の職務執行状況報告について
議案第 44 号	定款施行細則の一部改正について（専決事項の契約に係る権限範囲の引き上げ）
議案第 45 号	事務局規程の一部改正について（職種の追加）
議案第 46 号	就業規則の一部改正について（育児介護休業法の施行関連）
議案第 47 号	育児・介護休業等に関する規則の一部改正について（育児介護休業法の施行関連）
議案第 48 号	職員給与規程の一部改正について（給料表改定、賞与の支給率改定等）
議案第 49 号	社会福祉施設職員人事制度運用規程の一部改正について（人事考課制度、施設職員給与表等改正）
議案第 50 号	臨時職員就業規則の一部改正について（賃金表等改定）
議案第 51 号	高年齢者継続雇用規程の一部改正について（経過措置修了）
議案第 52 号	社会福祉施設管理規程の一部改正について（カメリアのロゴマーク設定）
議案第 53 号	令和 6 年度収支補正予算（第 3 号）の同意について
議案第 54 号	第 3 次飯豊町地域福祉活動計画（案）の承認について
議案第 55 号	令和 7 年度事業計画（案）の同意について
議案第 56 号	令和 7 年度収支予算（案）の同意について
議案第 57 号	役員等賠償責任保険への加入について
議案第 58 号	令和 6 年度第 4 回評議員会の招集について

（２）評議員会　（定数：１０名以上１５名以内）　　全４回開催

第１回《定時評議員会》　令和６年　６月２５日開催／出席評議員（現数１３名中）１３名及び髙橋会長、鈴木副会長・伊藤副会長、伊藤常務理事、須貝・舟山監事出席	
議案第 １号 議案第 ２号 議案第 ３号	令和６年収支補正予算（第１号）の承認について 令和５年度事業報告の承認について 令和５年度収支決算の承認について
第２回　令和６年１１月２８日開催／出席評議員（現数１３名中）10名及び髙橋会長・鈴木副会長・伊藤副会長、ほか理事5名、須貝・舟山監事出席	
議案第 ４号	令和６年度収支補正予算（第２号）の承認について
第３回　令和７年　２月１２日開催／出席評議員（現数１３名中）１１名及び髙橋会長、鈴木副会長・伊藤副会長、伊藤常務理事、舟山監事出席	
議案第 ５号 議案第 ６号 議案第 ７号	定款の一部変更について 住宅型有料老人ホーム管理規程の承認について 役員の報酬等に関する規程の一部改正について（会長報酬引き上げ）
第４回　令和７年　３月２８日開催／出席評議員（現数１３名中）１２名及び髙橋会長、鈴木副会長・伊藤副会長、伊藤常務理事、舟山監事出席	
議案第 ８号 議案第 ９号 議案第 10 号	令和６年度収支補正予算（第３号）の承認について 令和７年度事業計画（案）の承認について 令和７年度収支予算（案）の承認について

（３）正副会長会（会長・副会長・常務理事）

令和　７年　１月２０日	正規転換試験の実施について その他直面する課題等の整理
令和　７年　３月　３日	次年度に向けた業務執行体制について 理事会、評議員会の議案、日程の調整

（４）評議員選任・解任委員会（監事2名・外部委員2名・事務局員1名）

開催なし

（５）監事監査（定数：２名）

令和　６年　５月３１日	決算定例監査（令和５年度下半期業務執行状況の監査） 監事２名（福祉の里めざみ相談室）
令和　６年１１月２６日	中間定例監査（令和６年度上半期業務執行状況の監査） 監事２名（福祉の里めざみ相談室）

（６）会長専決事項

令和　６年　５月３１日	ＬＩＮＥ公式アカウント運用方針及び利用規約の制定	（第 268 回理事会報告）
令和　６年　８月　１日	長時間労働者に対する面接指導等実施規程の制定 （労働基準監督署監督官からの指導事項）	（第 270 回理事会報告）
令和　６年　９月２４日	飯豊町在宅複合型老人福祉施設浴室改修工事第１回仮契約変更に係る理事会における決議によらない執行	（第 270 回理事会報告）
令和　６年１０月　１日	社会福祉施設職員人事制度運用規程の一部改正 （最低賃金の引き上げ）	（第 270 回理事会報告）
令和　６年１０月　１日	臨時職員就業規則の一部改正 （最低賃金の引き上げ）	（第 270 回理事会報告）

（７）その他（法人運営全般・社会福祉施設の管理に関すること）

項　　目	内　　容
1 地域福祉推進委員会の開催	小地域における福祉活動の推進及び社協活動の円滑化を図るため、各集落に地域福祉推進委員を委嘱し、連絡機能の充実と新たな地域課題に関し情報交換を行いました。 （1）委員会開催状況

地　区	開催日	時　間	場　所
①中部、白椿、東部及び西部地区	７月　３日（水）	午後７時～	町民総合センター「あ～す」
②中津川地区	７月　４日（木）	午後７時～	中津川地区公民館

2 地域福祉を推進するための財源確保

社協会費は普通会費（世帯 1,700 円）、賛助会費(2,000 円以上)となり、地域福祉事業を支える財源としてそれぞれご協力を頂きました。

（1）社会福祉協議会住民会費協力状況(世帯会費１７口)

項　目	3年度	4年度	5年度	6年度
①金額	3,350,700円	3,315,000円	3,287,800円	3,270,800円
②戸数	1,971件	1,950件	1,934件	1,924件

（2）社会福祉協議会賛助会費協力状況

２７個人　８団体／　１１８，０００円（前年比５，０００円減）

種　　類	件　数	金　額
①理事・監事【各 30 口】	12 名	３４,０００円
②評議員　【各 20 口】	12 名	２４,０００円
③歴代正副会長（2 名）、教育長	3 名	７,０００円
④関係機関団体、交通安全協会 4 支部、役場管理職会	8 団体	５３,０００円

（3）社会福祉基金（社会福祉事業）への寄付の状況

６件／　　２４６,９８０円　（前年比１０４,８３０円増）

寄附者（団体）名簿（順不同）			
①横山　利一様（黒　沢）	20,000 円	④渡部みゑ子様（中津川）	10,000 円
②鈴木　好洋様（高　峰）	10,000 円	⑤飯豊町立飯豊中学校様	84,800 円
③須貝　周一様（添　川）	100,000 円	⑥飯豊町立手ノ子小学校様	22,180 円

（4）介護事業財政調整基金（社会福祉事業）への寄付の状況

０件／　　０円　（前年同額）

3 基金造成及び資産管理

社会福祉基金をはじめ、それぞれの基金の役割がより適正で明確なものになるよう基金管理に努めてきました。

（1）社会福祉基金運用状況調　　（令和 7 年 3 月 31 日現在）

収入項目	収入額	支出項目	支出額
①前年度末基金残高	３９,０９１,６２５円	①当年度処分（取崩額）	０円
②本部会計から繰入(寄附金)	２４６,９８０円	②社会福祉事業区分による会計へ支出（利子等）	０円
③当年度利子繰入	１,１１７円		
合計	３９,３３９,７２２円	合計	０円

差引残額　　３９,３３９,７２２円（次年度繰越）

（2）介護事業財政調整基金運用状況調　　（令和 7 年 3 月 31 日現在）

収入項目	収入額	支出項目	支出額
①前年度末基金残高	５２,５３０,０５４円	①当年度処分額（取崩額）	１０,０００,０００円
②本部会計から繰入(介護予防施設)	１,３６８,０００円	②社会福祉事業区分による会計へ支出（利子等）	０円
②本部会計から繰入(寄附金)	０円		
③当年度利子繰入	１,５０１円		
合計	５３,８９９,５５５円	合計	１０,０００,０００円

差引残額　　４３,８９９,５５５円（次年度繰越）

（3）職員資格取得研修等支援基金運用状況調　（令和 7 年 3 月 31 日現在）

収入項目	収入額	支出項目	支出額
①前年度末基金残高	４,３５３,３６１円	①当年度処分（取崩額）	１,０００,０００円
②当年度他会計からの繰入	０円	②社会福祉事業区分による会計へ支出（利子等）	(経営コンサルティング費用) ０円
③当年度利子繰入	１３４円		
合計	４,３５３,４９５円	合計	１,０００,０００円

差引残額　　３,３５３,４９５円（次年度繰越）

（4）ボランティア活動振興基金運用状況調（令和 7 年 3 月 31 日現在）

収入項目	収入額	支出項目	支出額
①前年度末基金残高	５,０００,０４９円	①当年度処分（取崩額）	０円
②当年度他会計からの繰入	０円	②社会福祉事業区分による会計へ支出（利子等）	０円
③当年度利子繰入	１５４円		
合計	５,０００,２０３円	合計	０円

差引残額　　５,０００,２０３円（次年度繰越）

（5）固定資産取得積立基金運用状況調（令和 7 年 3 月 31 日現在）　　残高０円

4 社協・介護サービス経営改善の取り組み

新たに幹部による「リーダー会議」と室長・事業管理者からなる「企画調整会議」を設置し、２層型での協議を進めてきた中で、これまで以上に、きめ細かな課題を吸い上げ、改善策の確立を迅速に行う体制が築かれました。

リーダー会議では、重要事項の意思決定をはじめ、施設運営の方向性を確認し、企画調整会議では組織の発展・課題の解決に向けた活発な提案づくりが行われるなど、組織の活性化と職員の育成につながっています。

(1) 施設運営推進会議

①リーダー会議　１６回（内不定期４回）

②企画調整会議　１４回（内不定期２回）

(2)経営コンサルティング

①訪問指導　　７回（５月、７月、９月、１１月、１月、２月、３月）

5 在宅複合型老人福祉施設の運営

社会福祉協議会が運営する介護事業所として、その特性に沿った「地域から選ばれる事業所」を継続していくために、心地よい、かつ安心してご利用いただけるようサービスの提供に努めました。

(1) 資格取得者の状況及び介護職員の配置状況（令和 7 年 3 月 31 日現在）

資格者	有資格者数
看護師	３名
主任介護支援専門員	２名
介護支援専門員	６名
社会福祉士	０名
介護福祉士	１９名
栄養士	１名

事業所別	正規	非正規		合計（前年比）
		常勤	短時間	
居宅介護支援	３	０	０	３（ ０）
訪問介護	２	１	１	４（ ０）
通所介護	８	１	１５	２４（ ３）
看護職員	（１）	（０）	（２）	（３）（ １）
調理職員	（０）	（０）	（３）	（３）（ ０）
合計	１３（－２）	２（０）	１６（６）	３１（ ４）

※施設長は除く

(2) 固定資産取得等の状況（備品は購入価格 10 万円を超えるもの）

事業名	時期	金額(円)	備考
①デイサービス浴室改修工事	7～10 月	6,964,100 円	町費費補助（6,619 千円）
②旧短期入所棟給湯管布設替整備	12～3 月	4,400,000 円	町費費補助（3,300 千円）

6 公式ホームページ・SNS による発信

法人情報、イベント等の情報を積極的に外部に発信していくためにスマートフォン表示に対応にしたホームページの更新、日常的に SNS による投稿に努めました。

媒体	ホームページ	法人公式サイト・在宅複合型老人福祉施設
	SNS	インスタグラム（デイサービス） フェイスブック（法人事務局）

7 住宅型有料老人ホームの開設準備事業

経営改善計画 2024 に基づき、旧短期入所施設の設備の有効活用を図るとともに既存の通所介護、訪問介護などの内部サービスの利用拡大を模索しながら、住宅型有料老人ホーム事業の開始に向けた調査、手続き、設備改修及び備品の整備を行いました。

(1) 市場調査、分析研究関係

①民生委員及び居宅介護支援事業所等を対象としたアンケートニーズ調査

②先進事例調査及び経営収支調査

(2) 事前協議・現地確認

①市町村事前協議（令和 6 年 10 月 1 日）

②山形県事前協議（令和 6 年 11 月 14 日～令和 7 年 1 月 28 日終了）

③有料老人ホーム設置届（令和 7 年 3 月 3 日）現地確認（令和 7 年 3 月 26 日）

(3) 広報及び営業活動

①チラシの折込み（山形新聞/令和 7 年 2 月 28 日）

②内覧会の開催（令和 7 年 3 月 1 日～3 日）3 日間で 150 名来館

③訪問営業及びケアマネ向け説明会（令和 7 年 3 月 13 日、14 日）

（飯豊町、長井市、川西町、小国町、白鷹町及び南陽市の居宅介護支援事業所）

(4) 施設整備の改修、備品整備等

①居室の壁面改修及び扉錠の設置

②食堂及び共用スペースに設置する家具等の購入

③調理機器・機械設備等の点検交換及び調整

(5) 入居判定会議の開催（令和 7 年 3 月 19 日、令和 7 年 3 月 31 日）

4　社会福祉事業及び社会福祉を目的とする事業【社会福祉拠点】

（１）住民の福祉と地域福祉の推進に関する事業（法人運営事業）所管：総合福祉管理室

項　　目	内　　容

1 福祉総合相談窓口設置事業

心配ごと相談事業
［定例相談］
毎月第３金曜日
（午後1時～3時まで）
場　所：社協相談室

□事業概要：多様かつ複合的な課題を抱える町民からの相談窓口を明確化し、個々の相談に対し分野横断的に関係機関と連携しながら、課題の解決に向けた包括的・継続的支援を行うため、生活困窮者自立相談事業担当２名が相談支援員として従事してきました。

□業務内容：

（1）常設型の相談窓口（月曜日から金曜日（祝日を除く）午前8時 30 分から午後5時まで）

（2）定例相談「心配ごと相談」（毎月第3金曜日　午後1時から3時まで）

□利用実績　※心配ごと相談含み

相談者（件）数			２７件（内65歳以上１８件）	
相談内容（重複有）	病気や健康・障害のこと			７件
	住まいについて			７件
	お金に関すること（債務、支払い、家計等）			２５件
	地域や家族に関すること			５件
	仕事に関すること			２件
	介護に関すること			２件
	ひきこもり・不登校			２件
	その他			６件
紹介機関	本人		１６件	民生委員　２件
	家族・親戚・知人		２件	介護サービス事業所　１件
	役場関係課		２件	ケアマネジャー　１件
	その他関係機関		１件	その他　１件
処理対応	直接支援	継続中	３件	社協内他事業へつなぎ　８件
		終　了	１件	他制度・他機関へつなぎ　８件
	情報提供・相談対応のみで終了		６件	支援開始前に中断　０件

（3）その他の相談機関との連携

①地域包括支援センター及び民生委員等との連携（地区民協定例会月１回）

②山形県地域包括ケア総合推進センター移動法律相談　（９月１２日／社協相談室）１件

③第３回飯豊町ライフステージサポート委員会

第３回	日時	令和６年６月２８日（木）13:30～15:30
	場所	役場庁舎　３階委員会室
構成員	【構成員】 （教育振興室長）　渡部　賢一　（福祉室長）　宮川千鶴子 （こども家庭健康室長）　木村　忍　（生活環境室長）　髙橋　成樹 （住民室長）　細谷　美佳　（住宅政策室主事）髙橋　聖 （税務室長）　佃　典子　（上下水道室）　鈴木　直記	

2 生活福祉資金貸付事業

（山形県社会福祉協議会より一部事務受託）

令和６年度の相談件数及び申請件数は、昨年度と比較して大幅に減少しました。

（1）貸付状況　（過去４年比較）　※新型コロナ関連施策

年　　度		3年度	4年度	5年度	6年度
相談件数※電話含		７０件	１６件	３件	１件
貸付件数（申請）		8件 (8 件)	0件 (1 件)	１件 (1件)	１件 (1 件)
通常	教育支援資金	０件	０件	０件	０件
	福祉資金（緊急小口除）	１件	１件	０件	０件
	緊急小口資金	０件	０件	１件	１件
	総合支援資金	０件	０件	０件	０件
コロナ特例	緊急小口資金特例貸付※	３件	０件	－	－
	総合支援資金特例貸付※	４件	０件	－	－
年度内貸付決定額		5,350 千円	０円	100千円	50千円

（2）年度内貸付決定世帯の状況（低所得世帯　１件）

（3）借受件数　　４１件（令和7年3月31日現在）

①貸付期間中　０件　②償還期間中　４１件　③償還猶予期間中　０件

3　臨時特例つなぎ資金貸付事業
（山形県社会福祉協議会より一部事務受託）

離職者を支援するための公的給付制度等を申請している住居のない離職者に対して、生活費を迅速に貸付けする制度については、貸付実績はありませんでした。

4 福祉更生資金貸付事業

貸付限度額：6 万円以内
貸付期間：12 ヶ月以内
（無利子・保証人不要）

物価上昇によりエンゲル係数が高まり、光熱費や携帯電話料金、車検費用が支払えない等といったケースが多く見られています。

(1) 貸付状況（過去４年比較）

年　　度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
①貸付件数	１０件	８件	１０件	１５件
内単身高齢者	２件	３件	６件	１１件
内ひとり親世帯	２件	１件	０件	１件
②年度内貸付決定金額	375,000 円	381,000 円	460,000 円	620,000 円

(2) 不良債権の状況（令和７年３月 31 日現在）

１年以上償還が滞っているケース	件数	金　　額	長期滞納者への対応
	８件	３０２，１００円	支払督促及び個別指導（随時）

(3) 資金管理状況

①令和６年度内不能欠損額　０円
②令和６年３月３１日現在の資金原資額　１，４４０，０３４円（前期繰越金）
③令和７年３月３１日現在の資金原資額　１，４４０，０３４円（②－①）
④貸出金総額（令和７年３月３１日現在）　７３４，１００円（前年比２０２，０００円増）
⑤令和７年３月３１日現在の預金残高　７０５，９３４円　（③－④）

5 フードサポート事業
（赤い羽根共同募金/生活困窮者への緊急支援活動助成事業）

「生活費がない」「食べるものがない」等の困窮状態にある方に対し、緊急支援として無償で食料提供を行うフードバンクの利用件数は、昨年度に引き続き 120 件を超え継続的な支援を必要とする世帯が増加しました。

(1) 食料品の寄付の受け入れ状況　３３件（前年比３件減）

個　人	寄付のあった日	食品等の種類
匿名希望　様（　椿　）	令和６年 4 月 11 日	お米 30kg
手塚　正樹 様（萩　生）	令和６年 5 月 22 日	コーヒー
手塚　正樹 様（萩　生）	令和６年 6 月 19 日	砂糖
匿名希望　様（手ノ子）	令和６年 7 月　1 日	お米 10kg×2 袋・茶
伊藤　佐市 様（　椿　）	令和６年 7 月　3 日	お米 15kg
島貫潤一郎 様（萩　生）	令和６年 7 月　3 日	お米 30kg
匿名希望　様（松　原）	令和６年 7 月 18 日	じゃがいも
匿名希望　様（手ノ子）	令和６年 7 月 23 日	お米 30kg
匿名希望　様（手ノ子）	令和６年 7 月 24 日	エンシュア　2 ケース
匿名希望　様（小白川）	令和６年 8 月　5 日	お米 30kg、乾麺
匿名希望　様（　椿　）	令和６年 8 月　9 日	お米 30kg
伊藤　佐市 様（　椿　）	令和６年 8 月　9 日	お米 30kg
匿名希望　様（添　川）	令和６年 8 月 29 日	乾麺
匿名希望　様（　椿　）	令和６年 10 月　3 日	お米 30kg
八島　美穂 様（手ノ子）	令和６年 10 月　4 日	乾麺 g
匿名希望　様（添　川）	令和６年 10 月　7 日	焼き海苔
匿名希望　様（萩　生）	令和６年 10 月　7 日	焼き海苔
手塚　正樹 様（萩　生）	令和６年 10 月 28 日	コーヒー
匿名希望　様（黒　沢）	令和６年 11 月　1 日	インスタント食品
手塚　正樹 様（萩　生）	令和６年 11 月 29 日	コーヒー
匿名希望　様（手ノ子）	令和６年 12 月 2 日	お米 30kg
匿名希望　様（手ノ子）	令和６年 12 月 6 日	お米 3kg×10 袋
後藤　信子 様（松　原）	令和６年 12 月 9 日	茶
匿名希望　様（長井市）	令和６年 12 月 12 日	日用品、レトルト食品
匿名希望　様（萩　生）	令和７年　1 月 6 日	お米 30kg
伊藤　佐市 様（　椿　）	令和７年　1 月 15 日	缶詰、インスタント食品
匿名希望　様（添　川）	令和７年　1 月 27 日	乾麺

	匿名希望　　様（長井市）	令和７年　２月 10 日	乾麺、醤油等
	匿名希望　　様（高　峰）	令和７年　２月 26 日	インスタント食品
	団体・企業等	寄付のあった日	食品等の種類
	株式会社デンソー山形　様	令和６年　４月３日	缶詰、乾麺、日用品
	匿名希望　　様	令和６年　７月 25 日	BOX ティッシュほか
	株式会社デンソー山形　様	令和６年 10 月２日	缶詰、乾麺、日用品
	株式会社セブンイレブンジャパン様	令和７年　２月６日	食品 37 箱・非食品８箱

(2) 食料品提供の支援状況

年　　度		３年度	４年度	５年度	６年度
①延利用件数		１５４件	１１２件	１２７件	１２３件
	内宅配提供	６件	６２件	８５件	６５件
②年度内利用世帯数		５３件	４５件	４５件	３１件
	単身高齢者世帯	３０件	２６件	３１件	１１件
	単身世帯（高齢者以外）	７件	３件	３件	８件
	その他の世帯	１６件	１６件	１１件	１２件

(3) 生活困窮者への緊急支援活動助成事業（共同募金配分）
①物価高騰等の影響で生活にお困りの方に対してのお米を中心とした食料品及び日用雑貨品の提供
②関係機関等との連携した支援及びつなぎ

6 災害救済金交付事業	令和6年度は、救済事業の対象となるような罹災はなく経過しました。
7 レクリエーション用具貸出事業【地域における公益的な取組み】	法人が貸出用として所有しているレクリエーション用具の貸し出しを通じて、サロンや町内グループにおける交流活動や余暇活動を支援してきました。 ①貸出件数：　　１５件（前年比　　３件増）
8 車椅子貸出事業【地域における公益的な取組み】	障がい者の外出支援や病気等によって一時的に車椅子が必要となった世帯に対し無料で貸し出しを行いました。貸出期間は原則的に１ヶ月となっています。 ①貸出件数：　　２１件（前年比　　１２件増）
9 中学校同級会支援事業	若者の地元への定住及び出会いの場を築いていくための一助として中学校同級会の定期開催を勧奨し、若い世代に対して郷土への愛着や理解づくりを行いました。 ①中学校卒業生に同級会開催予告メッセージ交付（飯豊中：４１名）
10 ボランティアセンター事業	ボランティア活動の活性化及び活動意欲の創出を図るための取り組みを企画、実施したほか、活動時の万が一のケガに備え、ボランティア活動保険の普及を行い、町社協にボランティア登録している団体等に保険料の半額助成を行いました。 (1) ボランティア活動に関する研修会の実施 ①内容「地域で行う保護活動について考える～身近にできるボランティア活動」 ②期日　１０月３日（社会福祉協議会）　③参加者　５名 (2) ボランティア団体等への支援 ①ボランティア保険(助成)取扱件数　　基本プラン　４４９人 ②ボランティア登録件数　　１件
11 災害発生時のボランティア活動に関する事項	災害発生時のボランティア活動に対する情報収集等が円滑に行われるように次の取り組みを行いました。 (1) 飯豊町災害ボランティア支援ネットワーク連絡会 ①災害ボランティアセンター立ち上げ時の対応に関する情報共有 ②近年の災害ボランティアセンター設置状況とICT化に関する研修
12 被災地災害ボランティアセンターへの支援 山形県・市町村社会福祉協議会　災害時総合支援に関する協定関係	令和６年７月２５日からの大雨災害にかかる県内各地での復旧・復興に向けた災害支援活動に対し、災害ボランティアセンターの運営協力のための職員派遣等を積極的に行いました。 (1) 酒田市災害ボランティアセンターへの職員派遣　（延べ１５人/８日間） ①７月３１日（２名）　②８月３日（２名）　③８月６日～７日（２名） ④８月８日～９日（２名）⑤８月１３日（２名）　⑥８月２１日～２２日（２名） ⑦１０月５日（２名）　⑧１０月１２日（１名） (2) 災害ボランティアによる支援活動 ①ボランティアバス企画（８月１１日/戸沢村）参加者１３名 ②ボランティアバス企画（８月１８日/遊佐町）参加者１１名

<table>
<tr><td>13 青少年ボランティアの育成</td><td>福祉教育の推進及び青少年の健全育成につながるボランティア体験活動として新しい人づくりを進めるための交流イベントを企画しました。
(1) ブルーペイントプロジェクトの実施企画
健康福祉センター・美の里駐車スペース（令和６年８月１０日/参加者１６名）
(2) レモネードプロジェクトへの協力
小児がん支援活動として、春から夏にかけ社協窓口で販売を行いました。
※売上金の一部を特定非営利活動法人日本小児がん研究グループへ寄附（3,800 円）</td></tr>
<tr><td>14 次世代育成・福祉学習の推進</td><td>福祉関係者及び本会職員等がその知識や経験を活かし、地域で実施される研修会や学校の授業等に講師として伺い、子供たちの「福祉のこころ」を育てるための取組みを行いました。
(1) 学校での福祉教育の授業に取り入れていただくための題材を作成
(2) 地域支え合い推進員による出前講座
飯豊中学校１年家庭科（２月１７日/ ２月１９日）
(3) 飯豊中学校職場体験学習受け入れ
３年生１名（９月１０日～１１日）</td></tr>
<tr><td>15 いのちのバトン設置普及事業
（飯豊町一部委託）</td><td>前年度に引き続き、単身高齢者世帯を主な対象として、「気になる世帯」を特定し、行政及び民生委員との連携により、普及設置又は情報更新を進めてきました。
【情報キット管理状況】
<table>
<tr><th>購入数</th><th>設置済数</th><th>撤去済数</th><th>残数</th><th>設置件数</th><th>撤去件数</th><th>現在設置数</th><th>撤去済数</th><th>(未設置)残数</th></tr>
<tr><td>600</td><td>274</td><td>207</td><td>119</td><td>7</td><td>2</td><td>279</td><td>209</td><td>112</td></tr>
<tr><td>平成 28 年度購入分</td><td colspan="3">令和６年３月末日現在</td><td colspan="3">令和６年４月～令和７年３月</td><td colspan="2">令和7年3月末日現在</td></tr>
</table>
①情報シートの更新についても担当民生委員が必要に応じて随時対応を図ってきました。
②死亡または転出した世帯のバトンは、回収処分を行うとともに現設置世帯の台帳整理を随時行いました。</td></tr>
<tr><td>16 生活事故防止・暮らしの安心・安全のための啓発活動</td><td>交通事故や雪害事故防止に向けた啓発活動を関係する福祉団体やヘルパー訪問世帯、その他要援護世帯に対して情報を発信し注意喚起しました。</td></tr>
<tr><td>17 おしどり金婚さん記念品贈呈事業</td><td>山形新聞社が主催する「おしどり金婚さん顕彰事業」の趣旨に賛同し、令和６年度に金婚式を迎えられたご夫婦に対し記念品を贈呈し祝福しました。
①該当夫婦：９組　②贈呈式：１０月２３日（町民総合センター）</td></tr>
<tr><td>18 飯豊町歩行型除雪機械貸出事業</td><td>自宅周辺の除排雪作業を町民が行う場合に飯豊町が所有する歩行型除雪機を貸し出す事業を試行的に実施しました。
①貸出件数　５件（令和６年１２月２５日～令和７年３月３１日）
②貸出期間　延べ２０日</td></tr>
<tr><td>19 第２次飯豊町地域福祉活動計画の推進及び進行管理
（計画期間5年のうち5年目）</td><td>「第２次飯豊町地域福祉計画・地域福祉活動計画（期間:令和２年４月から５年間）」を推進するため、項目ごとに関係機関と連携しながら、５年目として主に次の取り組みを推進してきました。
①ＳＤＧｓを意識したボランティア活動の推進を図りました。
②多くの方に地域福祉に関心を持っていただけるよう情報発信に力を入れてきました。</td></tr>
<tr><td>20 第 3 次飯豊町地域福祉活動計画の策定</td><td>飯豊町地域福祉計画との一体型により町との共同で策定作業が進められ、研究調査活動においては、ワークショップを取り入れながら、住民が抱えている福祉課題やこれからの地域福祉を推進するための目標設定において行政機関と意識の共有が図られました。
(1) 策定委員会（地域福祉計画策定委員会含み）
<table>
<tr><td rowspan="2">第１回</td><td>日時</td><td>令和　６年　７月２９日</td></tr>
<tr><td>場所</td><td>飯豊町健康福祉センター</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第２回</td><td>日時</td><td>令和　６年　１０月２日</td></tr>
<tr><td>場所</td><td>飯豊町健康福祉センター</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第３回</td><td>日時</td><td>令和　７年　２月１０日</td></tr>
<tr><td>場所</td><td>中部地区公民館</td></tr>
<tr><td>構　成</td><td colspan="2">【委　員】◎委員長　〇副委員長
（町　民）◎嘉藤　正憲（部落長等会長）　樋口　愛子（振興審議委員）
（社会福祉に関する団体の代表）</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

○髙橋　弘之（町社協会長）　伊藤　佐市（町民児協会長）
舟山　直志（すぎな会理事長）　手塚　眞弓（いいで福祉会施設長）
手塚久美子（いいでめざみの里福祉会施設長）
髙橋　エミ（NPO法人ほっと理事長）
（必要と認める者）
後藤美和子（教育総務課長）　後藤　智美（住民課長）
渡辺　裕和（地域整備課長）
【アドバイザー】奥山　伸広（県社協次長）　柴田　邦昭（社会福祉士）

(2) 主な調査研究の内容
①地域福祉計画策定のためのワークショップ
（令和　６年　９月１８日／　対象:住民、福祉関係団体等）参加者:２４名
②地域における公益的な取り組みに関する意見交換会
（令和　６年１１月１１日／　対象:町内社会福祉法人の代表者）参加者:５名

（２）福祉サービス利用援助事業　　所管:総合福祉管理室

項　　目	内　　容
1 福祉サービス利用援助事業（山形県社会福祉協議会受託） 基幹的社協／ 専　門　員（２名配置） 生活支援員（１名配置）	権利擁護分野のケースワークにおける中心的な事業として、社会保障制度へのつなぎ役、さらには成年後見制度を補完するという役割を果たしてきました。 権利擁護ニーズが増えている中で、成年後見制度の利用が望ましい現契約者を移行していくための受け皿や体制づくりが課題となっています。

(1) 援助の状況

①利用に関する相談件数	６４件（前年比１６件減）
②延べ支援回数	年間５８回提供（前年比１０回減）

(2) 利用者の状況

年　　度		3年度	4年度	5年度	6年度
利用実人数（3月31日現在）		５件	６件	６件	５件
年度内	内新規契約者	１件	１件	１件	１件
	内成年後見移行者	０件	０件	０件	０件
	内契約解除者（上記除く）	１件	０件	１件	２件
態様	認知症高齢者	１件	２件	３件	２件
	知的障がい者	３件	３件	３件	３件
	精神障がい者	１件	１件	０件	０件

（３）共同募金配分金事業　　所管:総合福祉管理室

■配分区分１－令和５年度共同募金による市町村配分事業－

項　　目	内　　容
1 単身高齢者のための会食サービス事業 【老人福祉活動費】	要介護状態にない概ね７５歳以上の単身高齢者を対象に、ふれあいの場の提供を通じて、孤立感の解消に繋げていくための会食会を地元民生委員の協力を得て、地区公民館単位で実施しました。

地区	実施日	場所	参加人数
西部地区	令和6年 5月 12日	西部地区公民館	17人
	令和6年 10月 4日	西部地区公民館	15人
東部地区	令和6年 6月 21日	しらさぎ荘	21人
	令和6年 10月 3日	東部地区公民館	18人
中部地区	令和6年 6月 25日	さかい食堂	18人
白椿地区	令和6年 6月 12日	白椿地区公民館	10人
中津川地区	令和6年 10月 31日	白川荘	7人
	令和7年 2月 14日	（配食弁当）	20人

2 ふれあいグラウンドゴルフ大会開催事業 【老人福祉活動費】	高齢者の健康づくりを推進し、地元の民間福祉活動をみんなで応援していくためにチャリティーイベントとして第１４回大会を競技団体の協力を得て実施しました。 ①期日：１０月８日（黒沢スワンパーク）②参加者：５１名（前回比１１名減）

<table>
<tr><td></td><td>③共催・競技主管団体：町老人クラブ連合会・町グラウンドゴルフ協会</td></tr>
<tr><td>3 在宅介護者の集い開催事業【老人福祉活動費】</td><td>在宅において配偶者や親の介護をしている方々同士の交流を図りながら「情報収集」と「息抜き」をしてもらう場として開催しました。
①期日：１１月２８日（町民総合センターあ～す）　②参加者：１６名</td></tr>
<tr><td>4 子育てサロン活動育成支援事業
【児童・青少年福祉活動費】</td><td>町内の母親たちが主体となり自主的に活動を続けている育児サークルに対し活動支援を行いました。
①キッズワールド　（１９年目）　②年間活動回数：５回</td></tr>
<tr><td>5 福祉の心推進事業
【児童・青少年福祉活動費】</td><td>祖父母に対する日頃の想いや感謝の気持ちを絵手紙に込め、敬老の日に贈ることにより、小学生に豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的として「第１４回おじいちゃん、おばあちゃんへの絵手紙コンテスト」を町老連と共同で主催しました。
①募集対象：飯豊町内小学校に在学する児童
②応募総数：２９５編
③審査委員会：令和６年９月９日（審査委員６名）
最優秀賞（低・高学年各１編）・優秀賞（低・高学年各２編）ほか決定
④後援団体：飯豊町／飯豊町教育委員会／飯豊町民生委員児童委員協議会／飯豊町ＰＴＡ連絡協議会</td></tr>
<tr><td>6 小地域見守り活動支援事業
【福祉育成援助活動費】</td><td>主に地域住民が抱える様々な「生活課題」を専門機関に橋渡しする役割等を担う地域福祉推進委員に対して、福祉活動を効果的に推進することができるよう日常的に連携を深め、気になる世帯の早期把握や住民同士のつながり構築に向けてご協力いただきました。
①地域福祉推進委員　町内：６９名</td></tr>
<tr><td>7 社協だより
「しあわせ」の発行
【福祉育成援助活動費】</td><td>住民の福祉への関心を高めるための情報を掲載した機関誌を年２回発行しました。また、地元企業等から広告協賛をいただきながら紙面の充実に努めました。
(1) 発行部数　①第１３７号（令和６年８月１日発行）：２，４００部
②第１３８号（令和７年２月１日発行）：２，４００部
(2) 広告協賛　①協賛件数　１８社（10千円広告：14枠　／5千円広告：4枠）</td></tr>
<tr><td>8 地域共生型ふれあいいきいきサロン活動育成支援事業
【福祉育成援助活動費】</td><td>社協が支援する「ふれあい・いきいきサロン」は、新型コロナウイルス感染症の５類移行により、以前のような活気を取り戻しているサロンもあれば、そうでないところも見られており、それぞれのサロンの自主性を尊重しながら継続に向けた支援を続けてきました。
具体的な支援としては、活動費の助成に加え、レクリエーション用具の貸出し、サロン運営をリードする人材のフォローが主となっています。
(1) 町社協が支援する高齢者サロンの活動状況
<table>
<tr><th>団体名（継続年数）</th><th>年間回数</th><th>団体名（継続年数）</th><th>年間回数</th></tr>
<tr><td>①東山あけぼの会　（２２）</td><td>４５</td><td>②下椿いきいきクラブ　（２２）</td><td>１４</td></tr>
<tr><td>③小原ほのぼの会　（２２）</td><td>９</td><td>④椿第一いきいきサロン　（２０）</td><td>２９</td></tr>
<tr><td>⑤荻いきいきクラブ　（２１）</td><td>２０</td><td>⑥高野寺分いきいきクラブ　（１９）</td><td>４５</td></tr>
<tr><td>⑦向原いきいきクラブ（１８）</td><td>９</td><td>⑧沖いきいきクラブ　（１４）</td><td>４７</td></tr>
<tr><td>⑨吉長いきいきサロン（１３）</td><td>１１</td><td>⑩坪沼いきいきサロン　（１３）</td><td>４６</td></tr>
<tr><td>⑪大旦いきいきサロン（１２）</td><td>７</td><td>⑫中洞いきいきクラブ　（１１）</td><td>３５</td></tr>
<tr><td>⑬辻いきいきクラブ　（１１）</td><td>４９</td><td>⑭ゆいの里たかみねサロン（１０）</td><td>５６</td></tr>
<tr><td>⑮中ノ目北いきいきクラブ　（７）</td><td>４７</td><td></td><td></td></tr>
</table>
(2) ふれあい・いきいきサロン運営担当者経験交流会“広げようサロンの輪サミット”の開催
①開催日：２月２５日／町民総合センター「あ～す」　（参加者２６名）</td></tr>
<tr><td>9　社会的なつながりが弱い若者等への参加支援</td><td>ひきこもり、困窮、障がいなどの問題を抱える社会とのつながりが弱い若者等が出会い社会と「つながり続ける」ための取り組みとして「フリースペース・エール」を利用した集まりを築きました。
(1) イベント開放　年６回
①８月８日・９日　②９月１２日　③１０月１０日　④１１月１４日
⑤１月９日　⑥２月１３日
(2) 企画内容　フェイクスイーツワークショップ、マフィンづくり　等</td></tr>
<tr><td>10 町内福祉団体が行う福祉活動への助成</td><td>地域福祉の推進を図るために福祉関係団体が行う活動に対し助成を行いました。
①老人クラブが行う地域支え合い事業（飯豊町老人クラブ連合会）
②身体障がい者機能回復訓練事業（飯豊町身体障がい者福祉協会）
③ＮＰＯが行う育児サポート事業（特定非営利活動法人ほっと）</td></tr>
</table>

■配分区分２－令和５年度共同募金による地域福祉・在宅福祉事業－

項　　目	内　　容
1 高齢者を主体とした福祉型地区防災計画の作成事業	主にモデル集落でのワークショップ開催を通じて、令和４年８月の水害を振り返りながら、災害時の助け合いについて確認し合い、高齢者を主体とした避行動計画（地区防災計画）を作成しました。 (1) 防災ワークショップの開催※モデル地区（小原地区） ①令和６年 10 月 16 日（水）小原公民館　　参加者：７名 ②令和６年 11 月 20 日（水）小原公民館　　参加者：９名 (2) 地区防災計画及び支え合いマップづくり ①黄色いタオルによる安否確認の実証実験 ②高齢者サロンを主体とした避難行動に関する研究調査

■配分区分３－令和５年度地域歳末たすけあい配分事業－

項　　目	内　　容
1 経済的支援を必要とする世帯への商品券進呈事業【在宅配分】	生活が困窮していると認められる世帯の暮らしを支援するために民生委員と連携し、町商工会が発行する商品券をお届けしました。 ※配分審査委員会（１２月１６日）／民生委員による戸別配分（１２月２５日） 〔配分世帯〕全６２件　（前年比３件減） 世帯分類 ／ 内訳 ／ 内　容 ①継続的支援が必要な世帯 ／ ３９件 ／ １１,０００円相当の商品券 ②生活保護に準ずる世帯 ／ １４件 ／ １４,０００円相当の商品券 ③被災世帯 ／ ０件 ／ ④民生委員が必要と認める世帯【一時的に支援が必要な世帯】 ／ ９件 ／ １１,０００円相当の商品券
2 単身高齢者等を対象とした歳末見守り訪問事業【地域福祉活動配分】	日常的な支援や見守りが必要と思われる概ね７０歳以上の単身高齢者等を対象に歳末時期に民生委員が一斉に安否確認を行いました。 ※配分審査委員会（１２月１６日）／民生委員による戸別配分（１２月２５日） ①配分世帯：１１６世帯（前年比　３件減）
3 町内の障がい者施設が行う活動への助成【地域福祉活動配分】	町内の障がい者施設が年末に実施するクリスマスイベントに対して、新たに配分助成を行い、利用者の福祉向上を図りました。 ※配分審査委員会（１２月１６日） ①配分先：福祉事業所でんでん、あゆむ・いいで
4 要保護･準要保護認定児童激励支援事業【地域福祉活動配分】	要保護･準要保護認定児童を対象として援助活動を強化していくことを目的として１児童につき３,０００円分の図書カードを贈りました。 ※配分審査委員会（１２月１６日）／民生委員による戸別配分（１２月２５日） ①対象児童数：１５件（前年比　１件減）
5 ボランティアによる単身高齢者世帯への福祉年賀状作成事業【地域福祉活動配分】	町内に居住する単身高齢者及び軽費老人ホーム（ケアハウス）入所者に対して特定非営利活動法人ほっとのメンバーが、手作り年賀状の作成に取り組みました。 ※配分審査委員会（１２月１６日） ①作成枚数１７１件（前年比　７件減）

（４）介護福祉移動支援事業　　所管：総合福祉管理室

項　　目	内　　容
1 介護福祉移動支援事業（飯豊町受託）	地理的な要因から通所介護サービスを受けることができない者及び腎臓機能障害により人工透析療法を受けており定期的に医療機関に通院することが必要な者等に対し、自宅から介護事業所又は医療機関等までの送迎を行なうことにより、本人の自立支援とその家族の心身の負担を軽減し、福祉の増進を図ることを目的とする事業を町からの委託を受けて実施しました。 【提供体制】 ①運 転 手　７名（常勤兼務３名・非常勤専従１名・非常勤兼務３名） ②調整担当　１名（常勤兼務） 【使用車両】 ①リース車両　１台（ワゴン車１台）②法人所有車　３台（うち軽自動車３台）

【実施内容】
①自宅から町内の通所介護サービスを提供する事業所までの送迎
②自宅から透析を行う町外の医療機関までの送迎
③自宅から介護予防事業を実施する会場までの送迎

月別	①通所介護送迎		②透析患者輸送		③介護予防事業送迎	
	稼働日数	利用人数	稼働日数	利用人数	稼働日数	利用人数
4月	9	20(4)	11	11(1)	0	0(0)
5月	14	31(5)	8	7.5(1)	0	0(0)
6月	17	29(5)	11	11(1)	0	0(0)
7月	11	34(6)	6	5.5(1)	0	0(0)
8月	14	42(6)	11	11(1)	0	0(0)
9月	12	50(7)	10	10(1)	0	0(0)
10月	14	45(7)	11	10(1)	0	0(0)
11月	15	45(6)	12	23(2)	0	0(0)
12月	13	29.5(6)	12	17(2)	0	0(0)
1月	16	37.5(6)	11	11(1)	0	0(0)
2月	16	40(6)	11	11(1)	0	0(0)
3月	18	64(7)	12	12(1)	0	0(0)
合計	168	467(71)	126	140(14)	0	0(0)

(注1) 利用人数は延べ利用者数とし、( ) に実利用者数
(注2) 利用人数は往復で1人とし、送りのみの場合は0．5人

（５）福祉団体が行う活動への支援　（事務局担当）　所管:総合福祉管理室

項　目	内　容
1 飯豊町民生委員児童委員協議会 （会長　伊藤　佐市）	地域における身近な福祉の担い手として活躍する民生委員児童委員に対し協議会の運営並びに必要な支援と情報提供を行ってきました。 ①民生委員児童委員　３６名　②主任児童委員　２名
2 飯豊町老人クラブ連合会 （会長　木村　勝男）	高齢者が健康づくり活動や友愛活動を通して心豊かな地域社会の実現を目指し、老人クラブ活動の充実を図るために必要な支援と情報提供を行ってきました。 ①単位老人クラブ数　１１クラブ ②会員数　５３２名（前年同月比２０名増）※３月３１日現在
3 飯豊町ゲートボール連合会 （会長　鈴木　廣志）	町内のゲートボール競技団体に対し必要な支援を行ってきました。大会プログラム等の作成は会員が担っていることで事務の負担は軽減しています。 ①支部数　５支部　※３月３１日現在
4 飯豊町身体障がい者福祉協会 （会長　小松　茂雄）	身体に障がいをもつ方による自立更生のための当事者組織として活発な社会参加活動が推進できるよう必要な支援と情報提供を行ってきました。 ①会員数　４８名（前年同月比５名減）※３月３１日現在
5 飯豊町戦没者慰霊祭実行委員会 （会長　木村　勝男）	戦没者の方々の御霊を慰めるため、遺族会が中心となって挙行する慰霊祭の事務を担ってきました。 ①実行委員会（６月１１日）　②戦没者慰霊祭（７月１８日）
6 飯豊町共同募金委員会 （会長　髙橋　弘之）	共同募金に係る執行業務及び募金管理事務を県共同募金会の指導をもとに行ってきました。 ①運営委員会（６月　７日）　②配分審査委員会（１２月１６日）
7 飯豊町社会福祉法人連絡会 （会長　髙橋　弘之）	社会福祉法人が持つ専門性を活かし、情報の共有、連携及び協働を図り、地域の課題解決に取り組むことを目的とした連絡会の事務局を担いました。 ①定期総会（５月１０日）
8 飯豊町椿地区公共施設防災対策協議会 （会長　手塚　真弓）	周辺の公共施設における災害発生時の連係を確認し合うとともに利用者の安全を確保するために必要な検討を行ってきました。 ①隣接施設からの火災を想定した合同防災訓練を実施（10月17日/椿地区あ~す近郊）
9 飯豊町移送付添ボランティア連絡会	移送サービスの付添いを必要とする方に対し添乗のお手伝い等を行うボランティアの育成及び活動支援を行いました。 ①透析患者移送付添ボランティア登録者数　４名※３月３１日現在 ②ほほえみカー添乗ボランティア登録者数　１１名※３月３１日現在

５ 介護保険及び障がい福祉サービスに関する事業【介護拠点】

（介護サービス及び介護予防サービス、地域支援事業等）

（１）高齢者介護予防事業　　所管:総合福祉管理室・ふれあい介護支援室

項　　目	内　　容
1 地域介護予防事業 （飯豊町受託）	□事業概要：高齢者の要介護状態になることの予防又は要介護状態等の軽減もしくは悪化の防止を目的として、中津川地区の 65 歳以上の者を対象に行う「ゆうゆうクラブ」事業について飯豊町から委託を受けて行いました。 ①運営体制：　拠点数　３ヶ所/サポーター数　６名/ 送迎ボランティア　１０名 ②実利用者：　　３４人（前年比同数） ③実施回数　：　６７回（前年比２９回減） ④延利用者数：６１３人（前年比７４人減）

地区名	会場	活動回数	実利用者	延べ利用者	1回平均
中部ゆうゆう	ひまわり館	21 回	12 人	207 人	9.9 人
白川ゆうゆう	ひまわり館	22 回	11 人	182 人	8.3 人
岩倉ゆうゆう	岩倉公民館	24 回	11 人	223 人	8.9 人
合　　計		67 回	34 人	612 人	9.1 人

項　　目	内　　容
2 らくらく筋トレ教室事業 （飯豊町受託）	□事業概要：町の地域支援事業及び健康いいで２１に基づき、高齢社会における生活自立度の向上と健康寿命の延伸を基本目標に、常時指導員を配置し、トレーニングマシン等を使用した筋力トレーニング・有酸素運動等の提供及び指導を飯豊町から委託を受けて行いました。

6 年度の 目 標	①更なる介護予防の推進と元気な高齢者の育成に寄与していきます。 ②個別データ及びトレーニング結果の評価などサービスの向上を図ります。
結果と評価	①利用件数が約 530 件増となり、新規登録者数も増加傾向となっている。 ②男女別の利用状況では全体の 7 割が女性となっている。
主な課題	①新規登録からの継続利用と新規のアプローチを行い利用拡大を進めていきます。 ②土曜日の利用者が少ないため、午前のみの半日の営業も含め検討する必要がある。

□らくらく筋トレ教室の事業業績

①年間延利用者数	目標／　２，５００人	実績／　３，０３１人
②年間新規登録	目標／　２０人	実績／　３９人

【参考】利用者の状況　(件)

項　　目	3年度	4年度	5年度	6年度
①年度内新規登録（登録者数）	5人（117人）	16人（116人）	21人	39人
②延べ利用者数	1,371人	1,982人	2,497人	3,031人
③稼働日数	188日	278日	291日	290日
④1日当たり平均利用者	7.3人	7.1人	8.6人	10.5人

（２）生活支援体制整備事業　　所管:総合福祉管理室

項　　目	内　　容
1 地域支え合い推進員配置事業（飯豊町受託）	日常生活上の支援が必要になっても住み慣れた地域で安心して、生きがいをもって暮らすことのできる地域づくりを目指しながら、「住民が主体」となった支え合い活動の取り組みを推進してきました。 【主な業務内容】 ①地域のサロン、居場所（いっぷぐあが家・みんなこ家）への活動支援 ②生活支援コーディネーターの資質向上に関する研修会への参加（１６回） ③生活困窮者自立支援事業 支援調整会議への参加（３回） ④移送サービス付添ボランティア連絡会の運営補助

	⑤単身高齢者のための会食サービス事業への参加（５回） ⑥フードバンクによる食料提供及び受け入れ（随時） ⑦福祉有償運送従事者（通年） ⑧老人クラブ活動支援業務（通年） ⑨広報「いいで」地域支え合い推進員通信（連載） ⑩小学校の校歌を活用した介護予防体操の製作に関する準備
2 飯豊町除雪体制づくりプロジェクト会議の設置運営	住民、共助団体、関係機関及び町が連携協力し、地域に密着した宅地除雪等を行うための協議体を設置し、冬期間の住み良い地域環境の向上に向けて情報交換や共通事項について協議を行いました。

第１回	日時	令和　６年　１１月　５日
	場所	飯豊町健康福祉センター
第２回	日時	令和　７年　　３月１９日
	場所	飯豊町町民総合センター
構　成	【委　　員】（１２名／委員長：嘉藤　正憲） 除雪共助団体、支援組織等、地域で除雪ボランティアを行う団体 克雪体制づくりアドバイザー、公益社団法人長井・西置賜地域シルバー人材センター飯豊事務所長、町民生委員児童委員協議会 町部落長等会、町地域整備課建設室、町企画課総合政策室、町社会教育課まちづくり室、町総務課防災管財室 【アドバイザー】二藤部　久三（克雪体制づくりアドバイザー） 【事務局】飯豊町健康福祉課・社会福祉協議会	

（３）居宅介護支援事業【ケアマネジメント】　所管：地域生活支援室

項　　目	内　　容
1 居宅介護支援事業 （介護保険指定居宅介護支援事業者） 【対象：要介護１～５】	□事業概要：要介護者及び要支援者が、必要な介護サービスを適切に利用し、できる限り自立した生活が行えるようケアマネジャーが本人及び家族の意向や心身の状況、環境等を勘案してケアプランを作成し、サービス事業者と連絡調整等を行います。この内、要支援者(予防給付対象者)に対し「介護予防サービス計画」を作成する業務は飯豊町地域包括支援センターから委託を受けて行っています。

［料金関係］07.3現在

区分	料　金
要介護1・2	14,090円/月
要介護3～5	17,340円/月

※特定事業所加算（Ⅲ）
3,230円含
（注）初回加算3,000円別途

6年度の目標	①事業経営の安定化を図るために、3名のケアマネで月平均120人(予防含)以上を確保する。 ②いつまでも在宅で暮らし続けることができるケアプラン作成を実現する。
結果と評価	① 請求件数は、5年度の実績を上回ることはでき、目標数値の月120人以上を達成することが出来ました。
主な課題 (今後の方針等)	①事例検討会や他のケアマネジャーの担当者会議に出席して相互評価を行うことで、職員全体の質の向上を目指します。

2 介護予防ケアマネジメント業務（第１号介護予防支援事業）
（飯豊町地域包括支援センター受託）

【対象：要支援１及び２】

［対象者］要支援１及び２
［単価］月額10,860円
（初回の場合）4,420円＋初回加算3,000円、連携加算3,000円、支援加算440円
（初回以外の場合）4,420円＋支援加算6,440円

□利用状況／業績

(1)居宅介護支援事業

①年間延利用者数	１，０３４人（前年比３６人増）	
②月平均利用者数	目標／　８４人	実績／　８６．７人
③収入額	１５，９７７千円（前年比８７０千円増）	
④実利用者数	８７人※令和7年3月現在（前年比９人増）	

(2)介護予防支援事業の受託

①年間延利用者数	４３３人（前年比　９人増）	
②月平均利用者数	目標／　３６人	実績／　３６．１人
③収入額	４，６９２千円（前年比９７千円増）	
④実利用者数	３７人※令和7年3月現在（前年比２人増）	

【参考】ケアプラン及び予防プラン作成件数　(件)

項　目	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
介　護	860	885	1,019	998	1,034
予　防	389	276	460	424	433
合　計	1,249	1,161	1,479	1,422	1,467

3 家族介護支援事業 （飯豊町受託）	町からの委託を受けて、家庭介護者の相談及び介護に関する知識、技術の習得のための教室を５回実施しました。 （1）家族介護教室事業

期日・場所（参加した介護者）	内　　容
令和６年　６月１３日 健康福祉センター（11 名）	「筋肉を強くする！～たんぱく質を気軽に摂るには？～ 講師：栄養士・介護予防運動指導員　伊藤　美紀氏
令和６年　８月　１日 健康福祉センター（18 名）	「聞こえの低下と介護予防について」 講師：介護老人保健施設リバーヒル長井　言語聴覚士　荒井　晋一　氏
令和６年１０月　４日 健康福祉センター（16 名）	「笑いヨガ」 講師：笑いヨガティーチャー　内山　弘子　氏
令和６年１１月２８日 町民総合センター（44 名）	「介護保険を知ってみよう～自分にも家族にも優しい自立支援～」 講師：株式会社つるかめ代表取締役社長　伊藤　順哉氏
令和７年　２月１７日 健康福祉センター（13 名）	「認知症に関する教養講座」～認知症の方への理解を深めよう～ 講師：公立置賜総合病院　認知症看護認定看護師　田中　明美氏

（2）家族介護者交流事業

①事業内容　町内温泉施設「しらさぎ荘・白川荘・神乃湯ホテル」※共通入浴券2枚進呈

②使用期間　令和６年 10 月１日～12 月 15 日

③対象件数　１１８件（要介護１以上の者を現に介護している家族）

④利用状況　　６４件（使用率４０．３％）

（４）居宅介護等事業【ホームヘルプ】　所管：地域生活支援室

項　　目	内　　容
1 訪問介護事業 （介護保険指定居宅サービス事業者） 【対象：要介護１～５】 営業時間:7:00～21:00 ※12 月 29 日～1 月 3 日は休み ［料金関係］07.3 現在	□事業概要：介護福祉士等の専門資格を有するホームヘルパーが介護の必要な人の自宅を訪問し、排泄、入浴介助等の身体介護や調理、掃除等の生活援助サービスを提供します。家族介護をカバーし、利用者本人の自立をできる限り支援することで、利用者及び家族の家庭生活を支えるとともに、介護に限らない利用者周辺の生活課題を「つかみ」、課題解決へ「つなぐ」ことにより、利用世帯の地域生活を支援していくことが目的です。

区分	身体介護	加算関係
２０分～３０分未満	2,440 円	早朝（6~8 時） 夜間(18~22 時) 25%加算 初回加算 2000 円 処遇改善加算Ⅱ 22.4%
３０分～６０分未満	3,870 円	
６０分～９０分未満	5,670 円	
９０分～（３０分単位）	820 円	

６年度の目標	①事業経営の安定化を図るために、訪問介護員一人当たりの活動収益 4,000 千円以上を確保する。 ②障害福祉サービスの提供をリードできる人材を育成する。
結果と評価	①訪問介護員一人当たりの活動収益は、目標を下回っていますが、障害福祉サービスの利用が増加しており、事業所全体としては大きなマイナスとはなっていない。 ②障害福祉サービスの提供をリードする人材育成は、思うように研修の時間を確保できませんでした。
主な課題（今後の方針等）	①利用者のニーズと家族の困りに寄り添った形での個別サービスマニュアルの見直しを行います。 ②障害福祉サービスの提供をリードできる人材を育成します。

2 訪問型サービス（介護予防訪問介護相当サービス）事業

（飯豊町介護予防・日常生活支援総合事業第１号事業者指定）

【対象：要支援１及び２】

営業時間：8:00～17:00

※12 月 29 日～1 月 3 日は休み

［料金関係］07.3 現在

区分	月額
週１回程度	１１,７６０円
週２回程度	２３,４９０円
週３回程度	３７,２７０円

□利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照

①年間延提供回数(訪問型サ含)	２,６３８回（前年比　７９５回減）	
②月平均利用回数（訪問型サ含）	目標／　２６１回	実績／　２１９.８回
③年間提供時間　(訪問型サ含)	１,７７６時間０７分（前年比１４６時間５７分減）	
④収入額　（訪問型サ含） 介護報酬+利用者負担金	８,７５４千円（前年比　２,４３４千円減）	
⑤実利用者数(訪問型サ含)	２４人※令和７年３月現在（前年比１人増）	
⑥総合事業比率（利用者）	全体の　１２.６％（前年比７.４％増）	

【参考】訪問介護サービス提供時間数　（時間）

項　　目	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
介護・予防計	2,268	2,033	2,671	1,923	1,776

3 訪問自費介護サービス 営業:7:00～21:00　※12月29日～1月3日は休み ［料金］※早朝・夜間割増有 30分以上45分未満1,800円 45分以上60分未満2,400円	介護保険制度の対象にならないサービス需要に対応するため利用者との契約行為により外出支援、通院介助を中心とした介護サービスを提供してきました。 □利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照

①年間延提供回数	１７６回（前年比７９回増）	
②年間延提供時間数	２１８時間３４分（前年比５３時間３４分増）	
③収入額	４６４千円（前年比　６０千円増）	
④月平均利用人数	目標／　９．５人	実績／　１２.８人

4 居宅介護（ホームヘルプ）事業 (障害者総合支援法指定障害福祉サービス事業者) ［対象者］身体、知的、精神障がい者及び障がい児 ［営業日］月～金曜/7:00～21:00　※12月29日～1月3日を除く	障がいがあっても可能な限り自立して生活を営むことができるよう本人にとって必要な介護及びそれに付随する生活援助を提供しました。 □利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照

①年間延提供回数	1,４８８回（前年比　３５８人増）	
②年間延提供時間数	1,１７２.５時間（前年比３３０時間３０分増）	
③収入額	4,８６３千円（前年比　７２千円増）	
④延利用回数（月平均）	目標／　８６.６回	実績／　１２４回

5 福祉有償運送サービス事業 ［対象者］ 要介護者及び障がい者等 ［料金］240円～km数毎設定 ［営業日］月～金曜/8:30～17:15※12月29日～1月3日を除く	単独で公共交通機関を利用することが困難な移動制約者の通院等の交通手段を確保するための福祉有償運送サービスは、児童の利用回数が少しずつ増えてきました。 □利用状況

①年間運送回数	４３６回（前年比　２１１回増）
②対価収入	３０９千円（前年比１３８千円増）
③対価キロ	2,２４１km（前年比　９８５km増）
④会員（運送対象者）数	２０人※令和７年３月現在(前年比８人増)

13 安心生きがい訪問事業 （飯豊町受託） ［対象者］概ね65歳以上で介護保険等のサービス給付を受けてない高齢者等 ［単価］月額11,760円／件	日常的に社会生活に適応が困難とされる高齢者に対し、定期的に指導員（訪問介護員）を派遣し、健康観察及び暮らしに関する異変の察知等の支援を行いました。なお、一利用者につき原則、月２回(２週間に１回)の訪問とし、訪問が組まれていない週は「お元気コール」を提供し見守り機能の強化を図りました。 □利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照

①年間延利用者数	２９６人（前年比１人減）	
②収入額	3,４５７千円（前年比６９４千円減）	
③月平均利用人数	見込／　３０人	実績／　２４.７人

（５－①）通所介護事業【デイサービス】　所管:ふれあい介護支援室

項　目	内　容
1-1 地域密着型通所介護事業（介護保険指定地域密着型サービス事業者） 1-2 通所型サービス（介護予防通所介護相当サービス）事業(介護予防・日常生活支援総合事業第１号事業者指定) 令和6年4月～令和6年7月 通常の事業実施区域:飯豊町 営業日: 日曜・年始3日を除く日 定員：18名 提供時間 原則9：00～16：00	□事業概要：要介護者及び要支援者を自宅まで送迎し、昼食、入浴、機能訓練及びレクリエーション等日中のサービスを提供します。家族介護者の負担軽減のみならず、利用者本人が日中を有意義に過ごすことで、自宅における生活機能やＱＯＬを維持向上させることが目的です。なお、町内において通所介護（デイサービス）を提供している事業所の中で、認知症対応のサービスを提供しているところは本事業所のみとなります。
2-1 通所介護事業(介護保険指定居宅サービス事業者) 2-2 通所型サービス（介護予防通所介護相当サービス）事業(介護予防・日常生活支援総合事業第１号事業者指定)	

６年度の目標	①事業経営の安定化を図るために、自立支援サービスを新たな売りとしながら稼働率80%を確保する。 ②令和６年度内に地域密着型から通常規模型（広域型）への移行を円滑に進めます。
結果と評価	①地域密着型から通常規模型への移行が８月に行われ、町外からの利用も少しずつ増え始めています。 ②12月に利用者のコロナ感染が増加したことにより収益が大きく落ち込むなどの課題がありましたが、業務を継続して提供することができました。 ③ケアマネジャーを対象とした自立支援成果報告会を初めて開催し、自立支援の取り組みを知っていただくことができました。 ④営業活動に力を入れ、本事業所の特色を知っていただく取組みを強化したことで、新規利用者の獲得につながっています。

令和6年8月～令和7年3月
通常の事業実施区域:飯豊町
長井市及び川西町
営業日:
日曜・年始3日を除く日
定員：25名
提供時間 原則9：00～16：00

主な課題（今後の方針等）	①認知症対応型通所介護を通所介護に一本化し、大規模な受け入れに対応できる体制を確立します。 ②リーダーの時間外勤務による負担軽減及び若手人材の育成、定着化を図ります。 ③チームとしての団結力、支援力を向上させ利用者数を拡大します。

□利用状況／業績：

（1）通所介護（地域密着型通所介護）及び通所型サービス

①年間延利用人数(通所型サ含)	４，５４９人 （前年比 ５３４人増）	
②営業日数	３１０日 （前年比１日減）	
③利用率(通所型サ含)（目標83.3%以上）	６４．８％ （前年比 ６．９％減）	
	目標／ １５．０人(日)	実績／１４．７人（日）
④実利用者数(通所型サ含)	８１人※令和7年3月現在（前年比２３人増）	
⑤総合事業比率（利用者）	全体の ２３.２％（前年比 ２.５％増）	

3 認知症対応型通所介護事業（介護保険指定地域密着型サービス事業者）及び介護予防認知症対応型通所介護事業（介護保険指定地域密着型介護予防サービス事業者）

令和6年4月～令和7年3月
通常の事業実施区域:飯豊町
営業日:
日曜・年始3日を除く日
定員：12名
提供時間 原則9：00～16：00

（2）認知症対応型通所介護及び介護予防認知症対応型通所介護

①年間延利用人数(予防含)	２，１６０人 （前年比 １６８人減）	
②営業日数	３１０日 （前年比１日減）	
③利用率(予防含)（目標83.3%以上）	５８．１％ （前年比 ４．３％減）	
	目標／ １０．０人(日)	実績／７．０人（日）
④実利用者数(予防含)	１６人※令和7年3月現在（前年比７人減）	
⑤予防比率（利用者）	全体の０％（前年比 ５.９％減）	

（3）収入合計額（全サービス種別合算）

収入額 （予防給付含） 介護報酬+利用者負担金+食費+実費	７６,８４３千円（前年比７２１千円減）

（4）活動・イベント

月別	内 容	月別	内 容
4月	外出訓練（つつじ公園・桜）	10月	椿地区公共施設防災訓練（10/17） 大浴場オープンセレモニー（10/31）
5月	外出訓練（つつじ公園:つつじ）		
6月	外出訓練（ゆり園:ゆり）	11月	外出訓練（皇大神社参拝）
7月	外出訓練（ゆり園:ゆり） グループーム合同避難訓練（7/11）	12月	ケーキバイキング（12/23～25） 年末感謝祭（12/30）
8月	枠沼神社例大祭（8/17）	3月	カメリア見学会（デイサービス含） 自立支援成果報告会（3/18・19）
9月	外出訓練（めさみの里祭り）・敬老の祝い（9/16）		

【参考】通所サービス延利用人数 （人）

項 目	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
通所介護	3,449	3,019	3,370	4,015	4,549
認知対応	2,293	1,926	1,973	2,328	2,160
合 計	5,742	4,945	5,343	6,343	6,709

4 日中一時支援事業
（障害者総合支援法による市町村地域生活支援事業の飯豊町委託）

日中における活動の場の確保及び一時的な見守り等が必要な在宅障がい者に対し、平日の早朝の時間帯に継続して支援を行いました。

①年間延利用人数	４９２人（前年比３２人増）
②実利用者数	３人※令和７年３月現在
③収入額	１,１００千円（前年比７２千円増）

（５－②）通所型サービスＡ事業【総合事業】 所管:ふれあい介護支援室

項 目	内 容
1 通所型サービスＡ事業 （飯豊町委託） 営業日:原則火曜・金曜日 定員：8名 提供時間：原則10：30～14：00	□事業概要：生活機能の低下が認められる高齢者等が、通所型サービスの利用により、生きがいづくり及び健康保持を図り、社会的孤立の防止と地域における自立した日常生活を支援することを目的としています。 □利用状況

①年間延利用人数	４９９人（前年比１１人増）
②稼働日数	９７日（前年比３日増）
③実利用者数	１１人※令和7年3月現在
④収入額 ※食事除く	２，１４９千円（前年比４４４千円増）

６　公益を目的とする事業【困窮者支援拠点】

（１）生活困窮者自立支援事業【西置賜地域社協共同体】　　所管：総合福祉管理室

項　　目	内　　容
1 自立相談支援事業 （県委託） 西置賜地域生活自立支援サブセンター ［窓口］８：30～17：15 ［休日］土・日・祝日及び／12 月 29 日～1 月 3 日 ［体制］相談支援員兼就労支援員（2 名配置）	生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者（現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者）の経済的な自立促進を図ることがこの事業の目的となります。 新規相談件数は 27 件となり、特に高齢者の占める割合が高いのが特徴です。 （1）利用件数

相談件数	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①新規相談件数	24件	25件	23件	20件	27件
内高齢者	10件	13件	15件	11件	18件
内障がいのある人	3件	2件	2件	4件	2件
②住宅確保給付金に係る相談件数	1件	－	－	－	1件
内支給決定件数	1件	－	－	－	0件
③新規プラン作成	10件	5件	1件	4件	4件
④延べ相談件数（援助回数）	386件	270件	107件	148件	352件

（2）支援調整会議の開催　　４回
①第１回　６月２５日　　新規１件、継続３件（うち更新１件）
②第２回　９月２４日　　新規１件、継続１件（うち更新０件）
③第３回１２月２４日　　新規２件、継続３件（うち更新０件）
④第４回　３月２５日　　新規０件、継続２件（うち更新０件）
（3）飯豊町自立支援会議の開催　２回
①第１回　９月２４日（構成機関出席１１名・検討ケース４件）
②第２回　３月２５日（構成機関出席　９名・検討ケース１件）

2 令和４年８月豪雨による被害があった世帯へのアウトリーチ	豪雨災害から２年が経過し、被災世帯の中で生活困窮や離職、メンタル不調などに悩まされている世帯が存在しないかを確認し、支援が十分に行き届いていない世帯に対し、着実な支援につないでいくことを目的として世帯訪問を行いました。 ①連携機関：飯豊町、飯豊町民生委員児童委員協議会、地元自治会 ②訪問期間：令和６年９月～１０月 ③訪問件数：９５件　（内困りごと対応　８件）

地区	椿	小白川	黒沢	萩生	添川	高峰
訪問件数	４２件	２件	１８件	７件	２３件	３件
内相談対応件数	３件	０件	２件	２件	１件	０件

７　収益を目的とする事業　【デマンド交通拠点】

（１）地域の公共交通に関する事業（デマンド交通事業）　　所管：総合福祉管理室

項　　目	内　　容
1 デマンド交通事業 「ほほえみカー」の運行　（飯豊町補助） ［運休日］土・日・祝日及び 8 月 13 日～16 日／12 月 29 日～1 月 5 日 ［車両台数］9 人乗り車両２台 4 人乗り車両２台 ［予約受付］8:00～16:00	令和６年度の利用者数は、1 日あたり 35.0 人となり前年対比で 1.9 人増加しました。利用者数が前年度を上回ったのは実に 13 年ぶりであり、令和６年４月の料金改正等が影響していると思われます。傾向としては、町内の利用者数は落ち込んでいる一方で、町外の利用が増えていることがわかりました。また、通院のための利用が依然として大半を占めているものの買い物を目的とする利用が徐々に目立つようになりました。 運行委員会では、料金引き下げやダイヤ改正後の利用者の変化について、注視しながら利用者数の増加に向けた議論を進めてきた中で、高齢者が集まる機会をとらえ、積極的にほほえみカーのＰＲや説明会を実施していくことを次年度に向けて確認しました。 （1）利用状況の概要

利用料金【令和６年４月最終改正】

地　区	中津川	中部・白椿 東部・西部	町外 エリア
中津川	200 円	200 円	600 円 (500 円)

①年間延利用者数	8,351 人（前年比 455 人増）
②１日平均利用者数	35.0 人（前年比 1.9 人増）

中部・白椿 東部・西部	200 円	200 円	400 円
町外 エリア	600 円 (500 円)	400 円	利用 不可

※（　）内は町内まちエリアの椿乗換ポイントで乗り継ぎした場合の料金となります。
※福祉割引適用者及び小学生は各料金の半額。

③稼働日数	239 日（前年比 1 日増）

(2) 利用登録者の推移

時　　期	登録者数	登録者異動件数
令和6年3月31日現在	3,660名	新規登録 34件
令和7年3月31日現在	3,620名	削除件数 74件

(3) 利用促進事業の推進
①回数券の販売促進　（138冊/494,000円）
②商工会無料券進呈事業との連携（386枚進呈/14社）
③予約代行サービスの協力提携（通年）
④ほほえみカー利用ガイドブックの作成（令和6年4月改定対応）
⑤ほほえみカー通信の発行（2回）

(4) 運行委員会開催状況（定数：１２名／委員長：髙橋　弘之）

①令和 6 年 10 月 30 日	中部地区公民館	9 名出席
②令和 7 年 3 月 17 日	飯豊町役場委員会室	11 名出席

(5) 企業協賛広告募集・契約　（年間 50,000 円・半年 30,000 円）

企業名	継続年	企業名	継続年
①医療法人仁陽堂外田医院	18 年	②ゆり調剤薬局	18 年
③桑島眼科医院	17 年	④医療法人松下クリニック	17 年
⑤いいでワゴー薬局	17 年	⑥松下歯科医院	11 年
⑦小笠原法律事務所	6 年		

(6) ほほえみカー利用に関する説明会
①ゆうゆうクラブ　３回（中津川地区）
②単身高齢者のための会食サービス　４回
③民生委員児童委員協議会　１回

8　その他

（１）関係機関との連携　　所管：総合福祉管理室

項　　目	内　　容
1 西置賜地方福祉連絡会議（議　長：長井市社協）	西置賜管内社協と連携を保ちながら当面する共通課題について研究協議を行うと共に、活動振興や経営基盤の確保について連絡調整を図ってきました。

会議・研修会名	期日（場所）	出席者
①会長並びに事務局長会議	１月１５日（長井市）	会長及び事務局次長
②事務局長及び担当者会議	４月１６日（長井市）	局長及び事務局次長
③担当者会議	３月　５日（小国町）	事務局次長
④職員研究協議会	３月　５日（小国町）	事務局次長

2 置賜地方社会福祉協議会連絡会

【置賜地区合同研修事業】

会議・研修会名	期日（場所）	出席者
①職員研修（担当：南陽市）	１１月１９～２０日（東京都）	主事
②老人クラブ連合会連絡協議会（米沢市）	１０月１７日（米沢市）	地域支え合い推進員
③担当者会議（担当：長井市）	７月１６日（長井市）	事務局次長
④置賜ボランティアの輪研修会（担当：長井市）	１０月　９日（長井市）	事務局職員２名

3 福祉大会等への参加

【福祉大会等の参加状況】

大会名	期日（場所）	参加者
①令和 6 年度山形県身体障がい者福祉大会	７月１８日（酒田市）	身障協会役員等 5 名
②令和 6 年度山形県老人福祉大会	９月　４日（酒田市）	老人クラブ役員等 15 名
③第 73 回山形県民福祉大会	１１月１４日（南陽市）	本会役員等１０名

4 関係会議（委員会）への役職選出又は関係機関より委嘱を受けるもの

(1) 会　　長

組　織　名	職　　名
①飯豊町共同募金委員会募金審査委員会	委員（委員長）
②ほほえみカー運行委員会	委員（委員長）
③飯豊町地域公共交通会議（住民課）	委員（委員長）

(2) 事 務 局 長

	①社会福祉法人山形県社会福祉協議会　評議員 ②社会福祉法人山形県共同募金会　評議員 ③飯豊町要保護児童対策地域協議会代表者会議（健康福祉課）　委　員 ④山形県共同募金会飯豊町共同募金委員会　出納員 ⑤飯豊町高齢者虐待防止ネットワーク協議会（健康福祉課）　委　員 ⑥会員加入促進若手増強委員会（老人クラブ連合会）　委　員 ⑦飯豊町障害者自立支援協議会（健康福祉課）　委　員 ⑧飯豊町消費者安全確保地域協議会（住民課）　委　員 (3) 施　設　長 ①飯豊町介護保険運営協議会（健康福祉課）　委　員 ②飯豊町地域包括支援センター運営協議会（健康福祉課）　委　員 ③グループホームひめさゆり荘２号館運営推進会議（いいで福祉会）　委　員 (4) 法人が加盟又は参加する機関団体・会議等 ①一般社団法人 全国介護事業者連盟　会　員 ②長井地区安全運転管理者連絡協議会（長井警察署）　会　員 ③長井地区被害者支援連絡協議会（長井警察署）　会　員 ④飯豊町商工会　会　員 ⑤置賜地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会　構成員 ⑥公益社団法人山形県社会福祉振興会　会　員 ⑦社会福祉法人福利厚生センター　会　員 ⑧飯豊町地域ケア会議（健康福祉課）　構成員 ⑨やまがた福祉移動サービスネットワーク　会　員 ⑩飯豊町地域安全克雪方針策定委員会（健康福祉課）　委　員 ⑪いいで未来サポート隊　構成員 ⑫公益社団法人長井青年会議所　※職員派遣　会　員
5 視察対応・講師派遣	(1) 視察の受け入れ ①新潟県佐渡市社会福祉協議会役職員研修（10 月 30 日/18 名） (2) 講師派遣 ①飯豊町婦人会総会（4 月 6 日/髙橋会長） ②高畠町助け合い支え合いの地域づくり会議（2 月 26 日/飯澤事務局次長）
6 共　催・後　援　等	(1) 共　　催　　１件 ①大人が変わればこどもも変わる県民運動(主催:山形県・山形県教育委員会等) (2) 名義後援　　３件 ①第43回飯豊町長・町老連会長杯争奪ゲートボール大会　(主催:飯豊町老人クラブ連合会) ②第33回山形県健康福祉祭「美術展」　(主催：山形県・山形県社会福祉協議会) ③第74回山形県・県民福祉大会（主催：山形県・山形県社会福祉協議会等）

（２）共同募金運動及び歳末たすけあい運動等への協力　　所管 ： 総合福祉管理室

項　　目	内　　容
1 赤い羽根共同募金運動への協力 実施時期：令和 6 年 10 月 1 日 ～12 月 31 日 (厚生労働省告示)	地域福祉の推進を図るための財源を確保し、民間福祉活動を支援するための共同募金について、住民自治組織及び関係団体の協力を得て取り組みました。なお、目標額達成のための戸別募金の目安額は１世帯７００円と設定しました。 目　標　額：２,２６０,０００円（前年比５２,０００円減） 実　績　額：２,０４８,１１３円（前年比２９,７０８円減） 達　成　率：９４．９％ ①戸別募金　１,３１９,４０９円　②大口募金　６２１,３４５円 ③学校・職域募金　８１,９２５円　④その他募金　２５,４３４円
2 歳末たすけあい運動への協力 実施時期: 令和 6 年 11 月 14 日 ～12 月 6 日	歳末時期に地域で援助を必要としている方々を支えあうための運動として、住民自治組織及び民生委員の皆様の協力を得て取り組みました。なお、目標額達成のための戸別募金の目安額は１世帯５００円と設定しました。 配分審査委員会の開催状況／令和６年１２月１６日 目　標　額：９３０,０００円（前年比２０,０００円減） 実　績　額：９４０,５００円（前年比６,５００円減） 達　成　率：１０１.１％ ①戸別募金　９４０,５００円

（３）その他　　所管：　総合福祉管理室

<table>
<tr><th>項　　目</th><th>内　　容</th></tr>
<tr><td>1 福祉サービスに関する苦情・事故等</td><td>
当年度の苦情の受付は無かったものの、デイサービスでの転倒や連絡不足等のミスが目立ちました。なお、車両に関する事故は発生しておりません。
（1）苦情・事故の発生状況
①苦情件数：０件（前年比３件減）　②事故件数：２３件（前年比１０件増）
<table>
<tr><th colspan="2">内　　容</th><th>地域福祉事業</th><th>介護予防</th><th>居宅介護</th><th>訪問介護</th><th>通所介護</th></tr>
<tr><td rowspan="3">事故</td><td>車両に関わる事故</td><td>0</td><td></td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr>
<tr><td>利用者転倒、ケガ</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>7</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>4</td><td>10</td></tr>
<tr><td rowspan="3">苦情</td><td>利用料等の徴収・誤請求</td><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td>0</td></tr>
<tr><td>職員態度・サービス不満</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr>
<tr><td>説明・情報不足</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr>
</table>
（2）苦情解決委員会開催状況（委員：３名／委員長：鈴木　義一）
<table>
<tr><td>①令和　７年　３月２８日</td><td>福祉の里めざみ相談室</td><td>委員３名出席</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>2 役職員等による研修関係</td><td>
令和６年度において下記の通り研修を行いました。
（1）評議員役員合同研修会　令和６年１１月２８日（評議員１１名・役員１０名）
「介護保険を知ってみよう～自分にも家族にも優しい“自立支援”」
講師　株式会社つるかめ 代表取締役社長　伊藤　順哉 氏
（2）事業主が実施する研修並びに教育
「少子高齢化社会における飯豊町の挑戦」令和６年５月３０日（全職員）
講師　飯豊町副町長　　髙橋　弘之氏
（3）職員（研修委員会等）が自発的に実施する研修
各部署（室又は事業所ごとに実施）
</td></tr>
<tr><td>3 人事考課の取り組み</td><td>
人事考課制が導入８年目となり、概ね評価内容が平準化され、職員に浸透してきています。引き続き、法人に対する貢献度の向上に資するために更に望ましい評価のあり方及びフィードバックの方法を検討していきます。
（1）昇格・昇給等のための定期評価対象期間
①令和７年　４月昇給＝令和６年　４月１日～令和７年　２月末日
（2）賞与（勤勉手当成績率）査定のための評価対象期間
①令和６年　６月支給＝令和５年１０月１日～令和６年　３月末日
②令和６年１２月支給＝令和６年　４月１日～令和６年　９月末日
（3）その他
①考課者を対象とした考課者訓練（令和６年７月３０日/堀越社会保険労務士）
②事務局長、施設長と個々の職員との面談（９月～１１月）
③目標管理等を取り入れた新しい人事考課制度への見直し。
</td></tr>
<tr><td>4 介護職員の処遇改善及び業務効率化の推進</td><td>
介護職員等の処遇の改善を図り人材不足の解消を進めるため、加算算定に必要な要件等の整備を行い、基本給等における定期昇給の財源に活用しました。また、ICT 等を導入して業務の効率化を図り、職員の負担軽減や働きやすい職場づくりを推進することで、介護サービスの質の向上を図ってきました。
【介護職員の処遇改善】
（1）介護保険事業所（訪問介護、通所介護）
①処遇改善加算、特定加算及びベースアップ加算の算定（令和 6 年 4.5 月分）
②新処遇改善加算の算定（令和 6 年 6 月以降）
③山形県介護職員処遇改善支援補助金（247,188 円）
（2）障害福祉サービス事業所（居宅介護）
①処遇改善加算及びベースアップ加算の算定（令和 6 年 4.5 月分）
②新処遇改善加算の算定（令和 6 年 6 月以降）
③福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金（27,358 円）
（3）その他
①山形県賃金向上推進事業支援金（250,000 円）
【介護現場の業務効率化】
（1）山形県ケアプランデータ連携活用促進事業費補助金（541,200 円）
</td></tr>
</table>

5 監督官庁等が実施した検査又は調査等	令和６年度に受検した指導内容は以下の通り。

(1) 米沢労働基準監督署による臨検（立ち入り調査）

①実地指導日 ②対象項目 ③指導結果	令和６年　７月２４日 労働安全衛生 是正勧告　　１件

(2) 山形県（指定権者）による介護保険施設等運営指導

①実地指導日 ②対象施設等 ③指導結果	令和６年　９月１３日 訪問介護ステーション福祉の里めざみ（訪問介護） 是正改善事項３件

(3) 山形県（指定権者）による指定障害福祉サービス事業所運営指導

①実地指導 ②対象施設等 ③指導結果	令和６年　９月１３日 訪問介護ステーション福祉の里めざみ（居宅介護） 是正改善事項２件

(4) 西置賜行政組合消防本部による立入検査

①立入検査日 ②対象設備等 ③検査結果	令和６年１１月２１日 在宅複合型老人福祉施設内屋内消火栓の不備 違反指摘事項　なし

(5) 山形県（指定権者）による介護保険施設等運営指導

①実地指導日 ②対象施設等 ③指導事項	令和７年　１月１７日 日帰り介護センター福祉の里めざみ（通所介護） 是正改善事項　なし

6 労働安全衛生活動の推進

職場として安全衛生活動を推進することで、労働災害の防止を図り、職員一人ひとりが安心して働ける職場環境の実現と職員が心身ともに健康で継続して勤務できるように努めてきました。

(1) 労働安全衛生の取り組み（安全衛生委員会の月１回開催）
①健康診断の充実(南陽健診センター)
②４Ｓ・ＫＹ活動の実施(通年)
③インフルエンザ予防接種の実施
④ストレスチェックの実施(１１月)
⑤新型コロナウイルス感染予防対策（ワクチン接種勧奨・集中的検査の実施）
⑥転倒防止対策等

7 働き方改革の推進

年次有期休暇の年５日の取得義務における適正管理及び時間外労働及び休日労働実態の常時把握に努めながら働きやすい職場づくりを進めてきました。

(1)時間外労働（休日労働）抑制のための把握状況

室　　別 (管理職は適用除外)		月平均残業 時間(平日+休日)	残業数 最大月	月平均休日 労働日数
事務局職員	総合福祉管理室	73.5時間	8月	8.8日
施設職員	地域生活支援室	2.5時間	9月	0.2日
	ふれあい介護支援室	22.7時間	7月	2.7日

(2)年次有給休暇取得率の状況

室　　別 (施設長・・・ふれあい介護支援室)		取得率=取得日数/今期付与日数×100		
		正　規	非正規	合　計
組　織　全　体		54.8%	64.6%	55.2%
事務局職員	総合福祉管理室	48.2%	78.8%	69.7%
施設職員	地域生活支援室	64.1%	69.9%	65.8%
	ふれあい介護支援室	52.3%	58.1%	55.8%

8 その他

(1) 経営マネジメント・財務会計に関する指導（5月／8月／11月／2月：さくら総合会計事務所）
(2) 職員の自主的な資格取得に対し助成するための基金事業　１件

■施設等に対するボランティア活動、物品寄贈等の善意

受付・活動日	区　　分	氏　名・団体名	内　　容
令和６年　５月 27 日	施設慰問	松村　光子 様（　椿　）	歌唱披露
令和６年　５月 27 日	物品寄贈	匿名希望　 様（高　峰）	タオル、衣類
令和６年　６月 14 日	施設慰問	後藤　幸子 様（　椿　）他２名	大黒舞披露
令和６年　７月　３日	物品寄贈	小松　和浩 様（長井市）	衣類
令和６年　７月 19 日	物品寄贈	匿名希望　 様（萩　生）	タオル
令和６年　７月 22 日	物品寄贈	坂本美知子 様（　椿　）	教材、施設消耗品
令和６年　７月 30 日	物品寄贈	匿名希望　 様（松　原）	オムツ
令和６年　８月　８日	施設慰問	涌沼神社　 様（　椿　）	獅子舞披露
令和６年　８月 30 日	物品寄贈	匿名希望　 様（中津川）	衣類
令和６年　９月 24 日	物品寄贈	國分　勝子 様（萩　生）	タオル
令和６年 11 月 18 日	物品寄贈	匿名希望　 様（　椿　）	オムツ
令和６年 11 月 20 日	物品寄贈	伊藤はる子 様（高　峰）	寝具、施設消耗品
令和６年 11 月 26 日	物品寄贈	伊藤　佐市 様（　椿　）	鑑賞菊
令和６年 12 月 20 日	ボランティア	特定非営利活動法人ほっとの皆様	年賀状作成
令和６年 12 月 26 日	物品寄贈	下椿いきいきクラブの皆様	門松
令和７年　１月　８日	物品寄贈	宇津木達男 様（萩　生）	オムツ、施設消耗品
令和７年　２月 27 日	物品寄贈	匿名希望　 様（黒　沢）	オムツ
令和７年　３月　４日	物品寄贈	匿名希望　 様（高　峰）	衣類
令和７年　３月 29 日	物品寄贈	横山　京子 様（手ノ子）	装飾品

※フードバンクへの善意については「フードサポート事業」のページでご紹介しております。

■社会福祉に関する表彰受賞関係（県段階以上）

老 人 福 祉 関 係	山形県知事老人福祉功労者感謝状 【老人クラブの指導育成に特に貢献のあった者】 勝見　敏雄 氏（萩　生） 【老人福祉施設等の介護職員として長年業務に精励し、他の範と認められる者】 手塚　眞弓 氏（いいで福祉会）　長岡　律子 氏（いいで福祉会） 山形県老人クラブ連合会会長表彰【老人クラブ育成指導功労者】 松田　健次 氏（萩　生）　後藤　　繁 氏（萩　生）
社会福祉従事者（役職員）関係	山形県知事社会福祉功労者表彰【社会福祉事業従事者】 荒木　淳子氏（いいで福祉会）　色摩　陽子 氏（いいで福祉会）　長岡　律子氏（いいで福祉会） 山形県・県民福祉大会会長表彰【一般社会福祉事業関係功労】 舟山　直志氏（すぎな会）
ボ ラ ン テ ィ ア 関 係	山形県・県民福祉大会会長表彰【社会福祉事業協助・奉仕者】 飯豊町立添川小学校

９　資料編

令和 7年 3月３１日現在

社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会
理事・監事名簿

任期　令和5年6月23日から就任後2年以内に終了する会計年度のうち
最終のものに関する定時評議員会終結の時まで
（令和7年4月以降に開催される定時評議員会の終結時）

理事：　定数／9名以上11名以内：現数（総数）　10名

No	職　名	選出区分	氏　名	性別	職　業	理事就任日	親族等特殊関係にある者の有無
1	会　長	(1)	髙　橋　弘　之	男	特別職 地方公務員	令和 4年 6月24日	無
2	副 会 長	(1)	鈴　木　廣　志	男	非常勤特別職 地方公務員	平成29年 6月15日	無
3	副 会 長	(2)	伊　藤　佐　市	男	農　業	令和 3年 6月24日	無
4	常務理事	(1)	伊　藤　満世子	女	地方公務員	令和 4年 6月24日	無
5	理　事	(1)	髙　橋　礼　子	女	無　職	平成29年 6月15日	無
6	理　事	(2)	関　敏　美	男	無　職	令和 5年 6月23日	無
7	理　事	(2)	片　桐　天　山	男	法人役員	平成28年 4月21日	無
8	理　事	(1)	菅　野　誠　一	男	農　業	平成11年12月21日	無
9	理　事	(2)	鈴　木　好　洋	男	無　職	令和 5年 6月23日	無
10	理　事	(2)	鈴　木　る　み	女	会社役員	令和 5年 6月23日	無

【理事の選出区分】次の各号の定めるところにより選任する。
(1) 社会福祉事業の経営に関する識見を有する者　5名以上6名以内
(2) 当該社会福祉法人が行う事業の区域における福祉に関する実情に通じている者　4名以上5名以内

監事：　定数／2名：現数（総数）2名

監事選任区分	氏　名	性別	職　業	監事就任日	親族等特殊関係にある者の有無
財務管理について識見を有する者	須　貝　周　一	男	税 理 士	H.23年12月22日	無
社会福祉事業について識見を有する者	舟　山　直　志	男	法人役員	H.29年 6月15日	無

令和6年度居宅介護等（ホームヘルプ）事業実績報告書

1、要介護度別利用者数

訪問介護ステーション福祉の里めざみ

月区別	利用登録者数	総合事業		介護保険給付					合計（回）	給付時間（時間／分）	1回あたり給付時間	給付時間前年対比
		要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5				
4月	12	3	7	51	55	0	0	67	183	186時間20分	1時間01分	－ 16時間24分
5月	12	5	10	64	58	0	0	68	205	224時間20分	1時間05分	－ 6時間02分
6月	14	7	14	46	48	7	0	57	179	198時間41分	1時間06分	－ 43時間45分
7月	14	8	17	49	58	71	0	70	273	140時間55分	0時間30分	－ 87時間25分
8月	15	7	17	36	52	61	7	59	239	122時間56分	0時間30分	－ 59時間15分
9月	16	14	18	43	47	54	24	58	258	130時間14分	0時間30分	－ 45時間36分
10月	16	19	19	47	58	45	0	68	256	127時間22分	0時間29分	－ 45時間43分
11月	17	17	19	48	51	7	0	60	202	126時間08分	0時間37分	－ 8時間44分
12月	17	16	15	44	37	22	0	59	193	127時間08分	0時間39分	23時間18分
1月	19	15	12	48	29	20	0	60	184	136時間05分	0時間44分	46時間45分
2月	22	16	20	79	27	22	7	33	204	128時間23分	0時間37分	47時間46分
3月	24	19	18	107	26	20	38	34	262	127時間35分	0時間29分	48時間08分
合計	**198**	**146**	**186**	**662**	**546**	**329**	**76**	**693**	**2,638**	1776時間07分	0:40:24（前年33:37）	－ 146時間57分
構成割合		5.5%	7.1%	25.1%	20.7%	12.5%	2.9%	26.3%	100%			

（注）給付時間＝　総合事業給付＋介護保険給付

2、障がい福祉サービス利用実績【居宅介護】

①利用登録者：8名（R7.3現在）　②家事　249時間00分　③身体　923時間30分

月区別	利用登録者数	サービス提供回数						
		家事援助（件）			身体介助（件）			合計
		0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5	
4月	6	16	9	4	37	19	11	96
5月	7	17	9	4	54	14	7	105
6月	7	4	8	4	77	26	12	131
7月	7	18	9	4	69	56	12	168
8月	7	15	9	5	75	41	8	153
9月	7	16	8	4	59	31	10	128
10月	7	20	8	4	52	28	14	126
11月	7	16	9	5	57	45	12	144
12月	7	3	8	4	50	42	12	119
1月	7	15	8	5	36	31	15	110
2月	8	0	8	0	60	32	10	110
3月	8	15	8	4	34	23	14	98
合計	**85**	**155**	**101**	**47**	**660**	**388**	**137**	**1488**
構成割合		10.4%	6.8%	3.2%	44.4%	26.1%	9.2%	

3、安心生きがい訪問事業実績【町受託】

①対象者23名(R7.3現在)②延べ支援件数296件

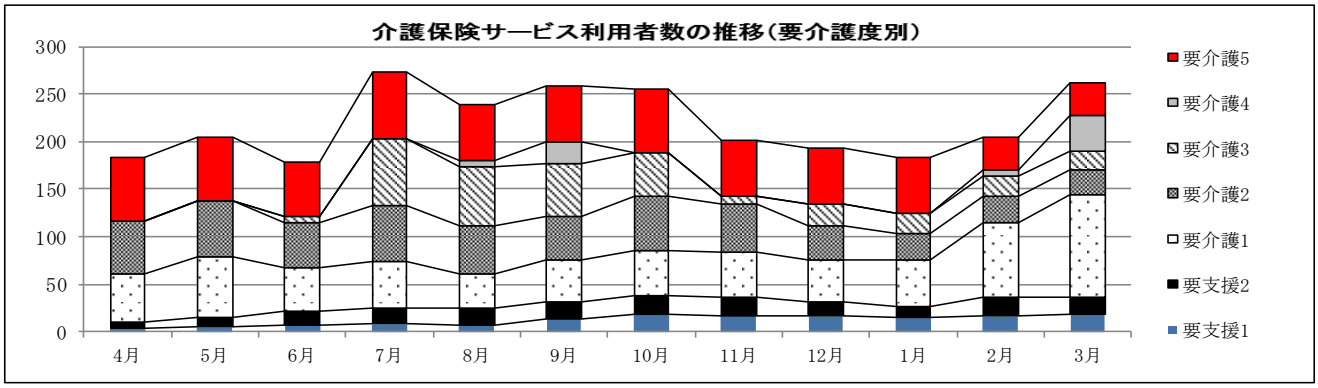
月区別	利用登録者数	異動情報
4月	29	新規1
5月	28	廃止1
6月	25	廃止3
7月	24	廃止1
8月	24	
9月	23	新規1: 廃止2
10月	21	廃止2
11月	24	新規3
12月	25	新規1
1月	26	新規1
2月	24	廃止2
3月	23	廃止1

（注）定期訪問１件につき月２回
お元気コール１件につき月２回

【利用者の平均介護度の推移】

（要支援を含む各介護度の延べ人数に1～5（要支援1＝0.375/要支援2＝1）を乗じ、加算したものを年間延べ利用者数で除する）

令和6年度	2.56	令和5年度	2.90



4、訪問自費介護サービス事業実績(保険外サービス)

①延べ提供回数176回　②延べ提供時間数218時間34分

月区別	利用登録者数	延べ提供回数	提供時間数	月区別	利用登録者数	延べ提供回数	提供時間数
4月	12	8	8:09:00	10月	12	13	16:51:00
5月	12	17	47:55:00	11月	12	15	18:01:00
6月	12	17	10:06:00	12月	13	8	10:31:00
7月	12	18	15:52:00	1月	15	9	24:28:00
8月	12	17	14:58:00	2月	15	16	19:18:00
9月	12	17	8:19:00	3月	15	21	24:06:00

令和6年度通所介護（デイサービス）事業実績報告書

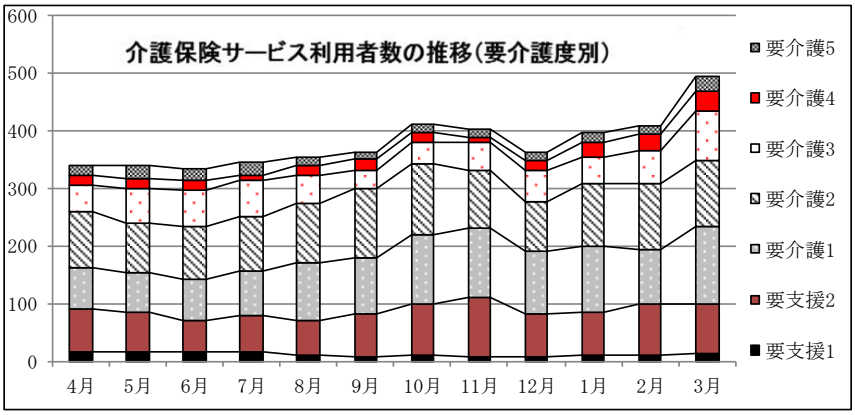
日帰り介護センター福祉の里めざみ

1　通所介護（地域密着型通所介護）
通所型サービス要介護度別利用者数

①年間新規契約件数：92件　／契約解除数：64件　②R7.3月現在利用登録者数：　81名

月区別	営業日数（A）	利用登録者数（B）	総合事業（月額）		介護保険（通所:7時間～8時間）					利用延べ人数（C）	月定員 D（A×18名）※8月以降=（A×25名）	当年度利用率E（C/D）	前年利用率比較
			要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5				
報酬単価（下段:指定通所介護）			16,720	34,280	7,500	8,870	10,280	11,680	13,080				
			16,720	34,280	6,580	7,770	9,000	10,320	11,480				
4月	26	72	16	75	71	98	45	18	17	340	468	72.6%	7.1%
5月	27	75	16	70	69	86	58	18	22	339	486	69.8%	-4.4%
6月	25	75	15	57	69	92	65	15	20	333	450	74.0%	-4.6%
7月	27	76	15	65	76	96	63	9	21	345	486	71.0%	-5.6%
8月	27	69	11	59	100	104	48	18	13	353	675	52.3%	-25.3%
9月	25	78	9	74	96	120	31	21	12	363	625	58.1%	-16.7%
10月	27	83	10	88	121	124	36	17	14	410	675	60.7%	-12.1%
11月	26	74	9	101	120	101	49	9	15	404	650	62.2%	-12.7%
12月	26	79	9	74	109	86	53	17	14	362	650	55.7%	-18.0%
1月	24	83	11	75	113	108	48	25	16	396	600	66.0%	4.2%
2月	24	76	11	87	95	115	58	28	15	409	600	68.2%	6.8%
3月	26	81	14	84	136	115	86	33	27	495	650	76.2%	8.6%
合計	**310**	**921**	**146**	**909**	**1175**	**1245**	**640**	**228**	**206**	**4,549**	**7,015**	**64.8%**	**-6.9%**
構成割合			3.2%	20.0%	25.8%	27.4%	14.1%	5.0%	4.5%	100%			

（注１）サービス種別の変更
4月～7月=地域密着型通所介護（定員18日）
8月～3月=通所介護（定員25名）
（注２）営業日数=休日：日曜日及び年始1～3日



【利用者の平均介護度の推移】

（要支援を含む各介護度の延べ人数に１～５〈要支援1＝0.375/要支援2＝1〉を乗じ、加算したものを年間延べ利用者数で除する）

令和6年度	1.87
令和5年度	2.00

2、認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護要介護度別利用者数

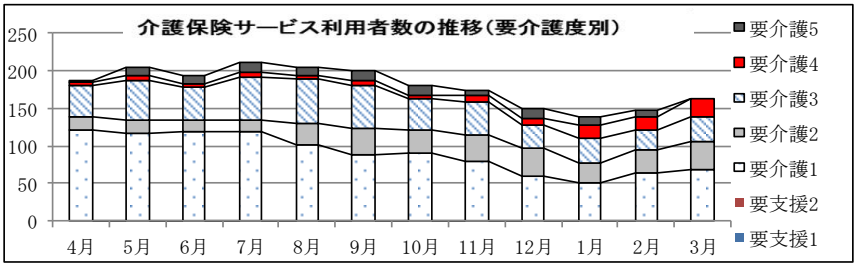
①年間新規契約件数：5件　／契約解除数：2件　②R7.3現在利用登録者数：16名

月区別	営業日数（A）	利用登録者数（B）	介護予防		介護保険（通所:7時間～8時間）					利用延べ人数（C）	月定員 D（A×12名）	当年度利用率E（C/D）	前年利用率比較
			要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5				
報酬単価			8,610	9,610	9,940	11,020	12,100	13,190	14,270				
4月	26	23	0	0	122	16	42	6	1	187	312	59.9%	-3.5%
5月	27	22	0	0	118	16	54	5	12	205	324	63.3%	-0.2%
6月	25	23	0	0	119	16	44	5	11	195	300	65.0%	-2.3%
7月	27	23	0	0	119	15	58	6	14	212	324	65.4%	0.9%
8月	27	24	0	0	102	28	59	5	11	205	324	63.3%	-7.9%
9月	25	24	0	0	89	34	58	7	13	201	300	67.0%	-6.7%
10月	27	21	0	0	91	31	41	5	12	180	324	55.6%	-13.0%
11月	26	20	0	0	79	36	43	10	7	175	312	56.1%	-13.9%
12月	26	20	0	0	59	39	31	8	13	150	312	48.1%	-8.7%
1月	24	19	0	0	52	25	33	17	12	139	288	48.3%	3.1%
2月	24	17	0	0	64	30	27	17	10	148	288	51.4%	1.4%
3月	26	16	0	0	69	36	35	23	0	163	312	52.2%	-0.6%
合計	**310**	**252**	**0**	**0**	**1,083**	**322**	**525**	**114**	**116**	**2,160**	**3,720**	**58.1%**	**-4.3%**
構成割合			0.0%	0.0%	50.1%	14.9%	24.3%	5.3%	5.4%	100%			

【利用者の平均介護度の推移】

（要支援を含む各介護度の延べ人数に１～５〈要支援1＝0.375/要支援2＝1〉を乗じ、加算したものを年間延べ利用者数で除する）

令和6年度	2.02
令和5年度	1.70



３、日中一時支援事業利用実績

①年度末実利用者3人　②延べ利用者数492人

月 区別	実利用者	延べ利用者数
4月	2	42
5月	2	42
6月	2	39
7月	2	43
8月	2	34
9月	2	38
10月	2	44
11月	2	38
12月	2	40
1月	2	32
2月	3	52
3月	3	48
合計	3	492

４ 、介護予防･日常生活支援総合事業（総合事業）通所型通所型サービスA利用実績

①年度末実利用者11人　②年間営業日数　97日　③延べ利用者数　499人

月 区別	営業日数	実利用人数	延べ利用者数	1回平均利用
4月	9	11	45	5.0
5月	8	12	47	5.9
6月	8	12	42	5.3
7月	9	12	46	5.1
8月	7	12	39	5.6
9月	8	12	41	5.1
10月	9	12	51	5.7
11月	9	12	52	5.8
12月	8	11	42	5.3
1月	7	11	29	4.1
2月	7	11	32	4.6
3月	8	11	33	4.1
合計	97	11	499	5.1

令和6年度居宅介護支援（ケアマネジメント）事業実績報告書

1、要介護度別利用者数

在宅介護支援センター福祉の里めざみ

R7.3現在契約者数:87名※予防除

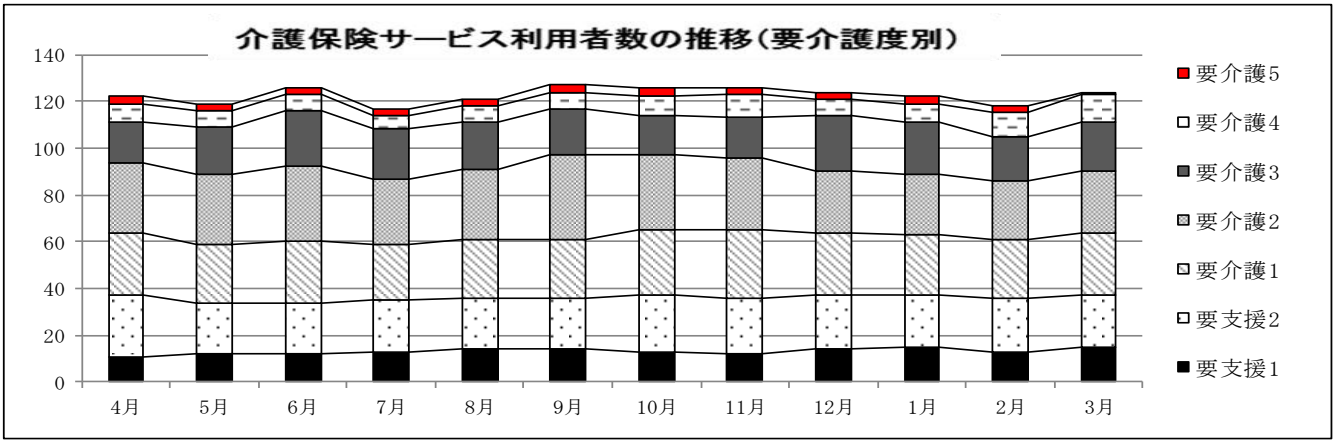
月区別	介護予防【受託】		介護保険					合計(件)※予防含	前年度比較
	要支１	要支２	要介１	要介２	要介３	要介４	要介５		
報酬単価	10,760		13,850		17,070				
４月	11	26	27	30	17	8	3	122	−1
５月	12	22	25	30	20	7	3	119	1
６月	12	22	26	32	24	7	3	126	4
７月	13	22	24	28	21	6	3	117	−2
８月	14	22	25	30	20	7	3	121	−4
９月	14	22	25	36	20	7	3	127	5
１０月	13	24	28	32	17	8	4	126	5
１１月	12	24	29	31	17	10	3	126	10
１２月	14	23	27	26	24	7	3	124	7
１月	15	22	26	26	22	8	3	122	9
２月	13	23	25	25	19	10	3	118	5
３月	15	22	27	26	21	12	1	124	11
合計	**158**	**274**	**314**	**352**	**242**	**97**	**35**	**1472**	50
構成割合	10.7%	18.6%	21.3%	23.9%	16.4%	6.6%	2.4%	100.0%	

(注1)報酬単価＝特定事業所加算Ⅲ3,090円を含む。
(注2)初回加算別途（3,000円別途）　住宅改修支援業務を行った場合（2,000円別途）

【利用者の平均介護度の推移】

（要支援を除く各介護度の延べ人数に１～５を乗じ、加算したものを年間延べ利用者数で除する）

令和6年度	2.23	令和5年度	2.24



令和６年度飯豊町デマンド交通事業　運行実績報告書

令和６年４月１日～令和７年３月３１日

①利用状況総括表

月別	利用者計	稼働日	1日あたり平均		
				内 町内利用	内 町外利用
R6年 4月	634人	21日	30.2人	9.9人	20.3人
R6年 5月	663人	21日	31.6人	9.9人	21.7人
R6年 6月	653人	20日	32.7人	9.9人	22.8人
R6年 7月	665人	22日	30.2人	8.8人	21.4人
R6年 8月	618人	17日	36.4人	11.6人	24.8人
R6年 9月	690人	19日	36.3人	10.9人	25.4人
R6年10月	873人	22日	39.7人	11.5人	28.2人
R6年11月	759人	20日	38.0人	12.5人	25.5人
R6年12月	784人	20日	39.2人	12.0人	27.2人
R7年 1月	584人	19日	30.7人	7.7人	23.0人
R7年 2月	675人	18日	37.5人	9.5人	28.1人
R7年 3月	753人	20日	37.7人	10.2人	27.5人
合　計 （前年比）	8,351人 455人	239日 1日	35.0人 1.9人	10.4人 -1.3人	24.7人 3.2人
利用者構成（全体に占める割合）				29.6%	70.4%

②月別年間記録

	平均利用者数	記録月	（前年度）
月別最高 平均利用者数	39.7	10月	（10月）
月別最低 平均利用者数	30.2	2月・7月	（1月）

③日別年間記録

利用者数		記録日
日別最高 利用者数	61人	12月20日
日別最低 利用者数	11人	5月23日

④曜日別平均利用人数

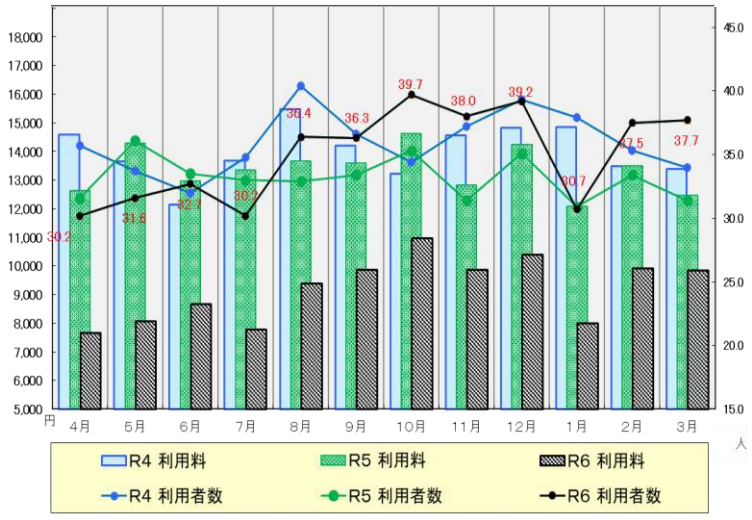
曜日別	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
平均利用者 （前年比）	35.7人 1.6人	37.1人 2.5人	32.2人 -2.1人	29.8人 4.7人	40.2人 2.8人

⑤利用者の構成

	一般	小学生以下	福祉割引	合計
町内	1,853人	16人	602人	2,471人
町外	2,892人	50人	2,938人	5,880人
合計 （前年比）	4,745人 427人	66人 44人	3,540人 -16人	8,351人 455人

※［中津川⇔長井市］間利用時の表記方法
①乗換利用→町内＋町外　　②直行パターン→町外

月別１日当たりの平均利用者との平均外部売上の推移
（前年度比較）



⑥利用施設別　降車ランキング

順	降車場所区分	人数	前年比
1	公立置賜総合病院	492	-45
2	長井駅	421	31
3	今泉駅	272	ランク外
4	公立置賜長井病院	363	170
5	ヤマザワ長井店	393	263
6	ツルハ飯豊店	147	-3
7	飯豊町国民健康保険診療所	137	0
8	仁陽堂外田医院	239	124
9	SHINセルカ	109	ランク外
10	こまつ鍼灸接骨院	125	ランク外

⑦利用施設別　乗車ランキング

順	乗車場所区分	人数	前年比
1	長井駅	559	-272
2	ヤマザワ長井店	453	124
3	公立長井市立病院	382	293
4	公立置賜照合病院	345	-157
5	ツルハ飯豊店	206	ランク外
6	ヨークベニマル長井小出店	204	39
7	SHINセルカ	157	26
8	こまつ鍼灸接骨院	162	46
9	飯豊町国民健康保険診療所	117	-17
10	松下クリニック	87	-56

⑧登録者数

3,620 人

大字名	登録者数	大字名	登録者数
中	469	松原	87
萩生	767	添川	401
黒沢	276	手ノ子	282
椿	545	高峰	243
小白川	304	中津川	246